

令和5年度(2023)

一戸町文化財

年 報

**岩手県二戸郡一戸町
一戸町教育委員会**

目 次

I 世界遺産関係事業実施状況	
1 基本方針	1
2 施策の重点	1
3 事業実施状況	1
II 文化財関係事業実施状況	
1 基本方針	6
2 施策の重点	6
3 事業実施状況	6
4 貸出資料一覧	10
III 御所野縄文博物館運営状況	
1 施設概要	13
2 来場者利用状況	14
3 教育普及活動	16
4 調査研究	19
5 ボランティア活動状況	19
IV 旧朴館家住宅活用状況	
1 概要	23
2 朴館家住宅保存会活動状況	23
3 見学ノート記載者数	24
4 見学者からのメッセージ	24
V 姉帯城跡活用状況	
1 概要	29
2 見学ノート記載者数	29
3 見学者からのメッセージ	29
VI 一戸町地域伝統技術交流館利用状況	
1 施設概要	30
2 利用者数	30
資料編	
1 令和5年度調査成果発表会資料	32
2 御所野遺跡DF22竪穴住居跡出土の保存処理された炭化材樹種同定結果	38
3 一戸町の指定文化財等一覧	49
4 一戸町文化財調査報告書一覧	52

I 世界遺産関係事業実施状況

1 基本方針

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つである御所野遺跡の文化的価値の理解を促進し、世界遺産登録の意義を町全体で共有し町民一人ひとりがその価値を認識して未来へ伝えていくため、遺跡を次代に繋ぐ人材の確保と育成を行うとともに、町民の保存・活用意識の高揚に繋がる活動を行う。そして、他の構成資産、県内世界遺産あるいは県北広域振興圏との連携を進め、世界遺産を通じた新たな交流・産業を創出する。

2 施策の重点

1 次代への継承

- (1) 世界遺産構成資産及び緩衝地帯の保護
- (2) 遺跡周辺の景観保全
- (3) 多様な担い手の参加による保存管理

2 世界遺産としての価値の理解促進

- (1) 調査研究の推進
- (2) 学校教育及び生涯学習の推進
- (3) 来場者の理解促進
- (4) 御所野縄文公園の活用

3 新たな交流・産業の創出

- (1) 縄文遺跡群構成資産及び世界遺産関係自治体との連携事業の推進
- (2) 新たな交流の推進
- (3) 世界遺産を活用した取組への支援

3 事業実施状況

1 次代への継承

事業名	実施内容	参加人数等
1. 縄文遺跡群 世界遺産本部事業	○期日・場所 ①6月19日 ②11月30日 オンライン ○内容 縄文遺跡群世界遺産協議会	①職員1名 ②職員1名
	○期日・場所 ①7月18日(19日中止) オンライン ②12月12日 盛岡市、13日 御所野縄文公園 ○内容 縄文遺跡群世界遺産専門家委員会	①職員1名 ②職員2名
	○期日 8月1日 ○内容 遺産影響評価報告	-
	○期日・場所 6月7日、7月6日、8月23日、11月13日 オンライン ○内容 保存活用推進行動計画策定作業部会	各職員1名
	○期日 ①10月22日 岩手フォーラム ②1月28日 東京フォーラム ○内容 縄文遺跡群の学術的価値の浸透を図るフォーラム	①参加40名 職員5名 ②参加600名 職員1名

事業名	実施内容	参加人数等
2. 景観形成支援事業	○期日 年間 ○内容 バッファゾーン内建造物の屋根等の塗り替えに対する補助	交付1件
3. 御所野遺跡保存整備事業	○期日 4月～3月 ○内容 縄文里山づくり事業	-
	○期日・内容 ①7月24～29日 園路舗装修理工事 ②9月～11月 東の大型堅穴建物の屋根修理 ③11月～3月 中央の中型堅穴建物の修理 ④2月1～29日 公園支障木伐採	-
	○期日・内容 ①8月23日～9月15日 駐車場舗装工事 ②8月23日～10月18日 トイレ自動栓交換 ③8月23日～10月18日 散水栓BOX交換工事	-
4. ボランティア活動支援(指定管理者)	○期日・場所 ①8月21日 ボランティア連絡協議会研修会 つがる市・鹿角市 ②11月26日 北東北3県縄文遺跡ガイド意見交換会 弘前市 ③12月9日 北海道・北東北の縄文遺跡群ガイド情報交換会 洞爺湖町 ○内容 公園に関わるボランティア団体の活動を支援、研修会も実施	①32名 ②1名 ③ボランティア2名 博物館職員1名 職員1名
5. クリーンデー(指定管理者)	○期日 ①4月23日 ②11月11日 ○内容 ボランティア団体や町内各団体、住民等による御所野縄文公園の清掃活動	①185名 ②186名

2 世界遺産としての価値の理解促進

事業名	実施内容	参加人数等
1. 調査研究事業	○期日 ①6月10日、11日 ②7月16日、17日 ③10月16日、17日 ④2月23～25日 ○内容 縄文時代の植物利用について、金沢大学などとの共同研究(～R6)	のべ7名
2. 調査成果発表会	○期日・場所 2月25日 御所野縄文博物館 ○内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究について成果発表会を行った	108名
3. ガイドアプリ活用	○期日 年間 ○内容 御所野遺跡ガイドアプリの配布及び貸出端末による利用	71件

事業名	実施内容	参加人数等
4. ごしょの縄文プログラム (指定管理者)	○内容 まるっと里山プログラム 里山を活用した縄文のものづくり体験 ①5月14日、7月16日 「カゴをつくろう」 ②6月25日、8月27日、9月3日 「縄文の縄をつくろう」 ③7月2日、7月9日 「縄文の布をつくろう アカソ編」 ④8月6日 「縄文の布をつくろう カラムシ編」	①22名 ②25名 ③15名 ④6名
	○内容 てづくりプログラム 土器づくり、組みひもなど気軽に楽しめる体験	1,213名
	○内容 ごしょのdeまなびプログラム 縄文公園や博物館資料について学ぶ体験 ①5月13日 バードウォッチング ②5月21日 縄文土器で煮炊き体験 ③6月17・18日 めいぐるみおとまり会 ④6月24日 縄文の星空観察会～夏～ ⑤10月14日 縄文の星空観察会～秋～ ⑥10月15日 御所野縄文博物館で記者体験！ ⑦11月5日 ドキドキ考古学者体験 ⑧12月17日 正月飾りをつくろう ⑨12月23日 縄文の星空観察会～冬～ ⑩1月8日 一戸町の絵馬を描いてみよう！ ⑪2月3日 冬の縄文公園を歩こう ⑫3月23日 縄文の星空観察会～春～	①19名 ②10名 ③11名 ④10名 ⑤10名 ⑥4名 ⑦5名 ⑧12名 ⑨10名 ⑩2名 ⑪中止 ⑫中止
	○期日・内容 5月18日 博物館無料開放日	59名
5. 登録2周年記念事業	○期日・場所 7月27日 登録記念日 御所野縄文博物館 ○内容 世界遺産登録2周年記念日イベントを実施。入館料無料、来館者記念プレゼント、縄文周遊発掘スタンプラリーオープンイベントを行った。	26名
	○期日・場所 7月30日 御所野縄文博物館 ○内容 登録記念ギャラリートーク、2周年記念講演会（講師：盛岡大学准教授 吉田泰幸氏）を実施。	ギャラリートーク 7名 講演会30名
	○期日・場所 7月21日～8月20日 きききのつりはし ○内容 写真展「縄文の森の小さないきものたち」（写真家：小池聡氏）を実施。（指定管理者）	4,037名

事業名	実施内容	参加人数等
6. 御所野縄文 WEEK (共)	○期間・場所 10月14日～10月22日 御所野縄文公園ほか	
	○内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携し9日間イベントを実施	
	①10月14日 オープニングセレモニー	①20名
	②10月14日 企画展「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」	②576名※WEEK期間中
	③10月14日 企画展示解説	③8名
	④10月14日 IBCラジオ「縄文ウォーク」	④90名※77タークス
	⑤10月14日 「ピストロわんこ」(~10/15)	⑤60名
	⑥10月14日 縄文スイーツフェア	⑥128名
	⑦10月14日 「浄法寺漆×御所野縄文」ワークショップ(~10/15)	⑦56名
	⑧10月14日 「縄文の星空観察会～秋～」	⑧10名
	⑨10月15日 「蔵でつくる！土器づくり体験」	⑨16名
	⑩10月15日 企画展ワークショップ「御所野縄文博物館で記者体験！」	⑩4名
	⑪10月17、19、21日 「蔵でみる！まちづくりミュージアム」	⑪52名
	⑫10月17日 講座「はじめての縄文」	⑫20名
	⑬10月19日 縄文給食	⑬765名
	⑭10月21日 「ハッピーウォーク2023」	⑭20名
	⑮10月21日 「縄文ヨガ」	⑮765名
	⑯10月21日 一戸高校地域振興イベント「ごしょドキッ Festival」	⑯20名
⑰10月22日 縄文フォーラム「文化遺産の特続可能なマネジメント 縄文遺跡群を次代へ守り伝えるために」	⑰7名	
⑱10月22日 エンディングセレモニー	⑱120名	
		⑲40名
		⑳40名

3 新たな交流・産業の創出

事業名	実施内容	参加人数等
1. 岩手県3つの世界遺産連携	○期日・場所 8月8日 御所野縄文博物館 ○内容 「岩手の世界遺産」教員現地研修会	7名
	○期日・場所 10月8日 釜石市 ○内容 いわて世界遺産まつりin橋野鉄鉱山	職員1名
	○期日・場所 11月14日 奥州市 ○内容 岩手県3つの世界遺産ガイド交流会	職員2名 ボランティア8名
	○期日・場所 11月29日 御所野縄文博物館ほか ○内容 岩手県3つの世界遺産児童交流会	一戸南小16名
	○期日・場所 2月1日 盛岡市 ○内容 岩手県3つの世界遺産連携会議	職員1名

事業名	実施内容	参加人数等
	○期日・場所 3月27日 盛岡市 ○内容 岩手県世界遺産保存活用推進協議会	町長、職員1名
2. 世界遺産連携	○期日・内容 ① 6月20日 世界文化遺産地域連携会議 総会・要望 ② 7月31日 世界文化遺産地域連携会議 東北・関東ブロック オンライン ③ 10月28・29日 世界遺産サミットin斑鳩町 ④ 11月12日 イイサンノヒ世界遺産一斉清掃 (秋のクリーンデー) 御所野縄文公園 ⑤ 12月21日 世界遺産研究協議会 東京文化財研究所 ⑥ 2月1日 世界遺産子どもサミット オンライン	①町長 職員1名 ②職員1名 ③職員1名 ④(186名) ⑤職員1名 ⑥一戸南小16名
3. 二戸地域振興センター連携	○期日・場所 7月27日～11月30日 御所野縄文博物館ほか ○内容 縄文周遊発掘スタンプラリー	673名
	○期日・場所 11月12日 是川縄文館 ○内容 二戸・鹿角共催ボランティアガイド交流会	ボランティア2名 博物館職員1名 職員1名
	○期日 10月5日～10月31日 御所野縄文博物館 ○内容 大湯環状列石・伊勢堂岱遺跡のパネル展示	-
4. 教育旅行誘致活動	○期日 年間 ○内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等への働きかけを行う	-
5. SNS情報発信(指定管理者)	○期日 年間 ○内容 SNSを活用し、情報をリアルタイムに発信	随時
6. 世界遺産PRキャラクターの活用	○期日 年間 ○内容 ごしょどん、ごしょたんのデザイン使用及び着ぐるみ貸出	デザイン使用許可 22件 着ぐるみ貸出 18件
7. その他交流事業	○期日・内容 ① 5月16日 新採用職員御所野遺跡説明会 御所野縄文公園 ② 9月23・24日 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」PRフェア 仙台市 ③ 1月13・14日 JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024	①職員18名 ②職員1名 ③職員3名



御所野縄文WEEK
IBCラジオ「縄文ウォーク」公開生放送



世界遺産子どもサミット

Ⅱ 文化財関係事業実施状況

1 基本方針

地域に受け継がれてきた歴史や文化を将来に繋げていくため、文化財の保護と普及啓発に努めるとともに、地域資源として活用することで町民の郷土に対する愛着心の醸成を図る。

2 施策の重点

1 文化財の調査・保護

- (1) 指定文化財の適正な保護に努めるとともに、未指定文化財の調査を進める。
- (2) 関連する文化財群の一体的な保存管理に取り組む。
- (3) 無形民俗文化財の伝承活動を支援する。

2 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

- (1) 旧朴館家住宅の保存修理を行う。
- (2) 地域住民等と連携し、修理後の活用策の検討を行う。

3 文化財愛護の機運向上

- (1) 歴史文化に触れる機会を設ける。
- (2) 地域団体による文化財保護活動を支援する。

3 事業実施状況

1 文化財の調査・保護

事業名	実施内容	参加人数等
1. 文化財の調査	○期日・場所 2月5日～9日 国立歴史民俗博物館 ○内容 蒔前遺跡出土品資料調査	職員2名 博物館職員1名
2. 寄贈・寄託資料	○期日 年間	資料寄贈1件 資料寄託2件
3. 町内遺跡 発掘調査事業	○期日 年間 ○内容 開発に伴う事前の遺跡有無確認調査	試掘調査3件 工事立会3件
4. 指定文化財等の保護	○期日・内容 ①4月13～28日 藤島のフジ枯れ枝除去作業 ②5月16日 小島谷小学校 藤島のフジ奉仕作業 ③5月18日、9月13日、10月15日 町内文化財パトロール ④6月7・8日、11月8日 旧小島谷中学校の清掃 ⑤6月20・21日 文化財周辺刈り払い、看板掃除 ⑥7月26日 観音堂のフジ カツラの木枯れ枝伐採	-
5. 奥州街道 災害復旧工事	○期日 7月5日～12月15日 ○内容 令和4年8月の大雨被害を受けた国指定史跡7区間のうち5区間において、復旧工事を行った	-
6. 神楽公開	○期日・場所 6月18日 旧朴館家住宅 ○出演 高屋敷神楽保存会 ○内容 国指定重要文化財「旧朴館家住宅」で町内に伝わる郷土芸能を披露	64名

事業名	実施内容	参加人数等
7. 権現様パレード	○期日・場所 8月26日 一戸町 ○内容 一戸まつり期間に実施し郷土芸能の普及啓発を図る	40名
8. 第49回二戸地区郷土芸能発表会(共)	○期日・場所 11月19日 一戸町コミュニティセンター ○内容 伝統を受け継いできた二戸地区の郷土芸能を継承するため、発表の機会を設け、郷土芸能に対する理解を深める	146名
9. 第45回一戸町郷土芸能祭	○期日・場所 11月19日 一戸町コミュニティセンター ○内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民に理解を深めてもらうとともに、伝承者の技術向上を図る	146名
10. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	○期日 ①5月17日、8月5日、11月1日 役員会 ②6月10日 総会 ○内容 郷土芸能団体の交流を図り、郷土芸能の活性化と後継者育成のため各種事業を行った	①各職員1名 ②参加8団体職員2名
11. 無形民俗文化財保存事業	○内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定7団体
12. その他	○期日・内容 ①6月18日 北上みちのく芸能まつりGEINO女子交流公演(出演:根反鹿踊り保存会) ②1月21日 冬の北上みちのく芸能まつりpart14(出演:根反鹿踊り保存会) ③2月4日 第23回釜石市郷土芸能祭(出演:高屋敷神楽)	-

付. 開発に伴う遺跡有無確認調査一覧

No	調査実施日	開発事由	場所	内容
1	4月19・20日	太陽光システム	一戸町岩館	試掘調査
2	5月11日	太陽光システム	一戸町一戸	試掘調査
3	11月6日	車庫	一戸町小鳥谷	試掘調査
4	11月14日	携帯電話無線基地局	一戸町中里	工事立会
5	12月15日	暗渠改修	一戸町小友	工事立会
6	12月18日	個人住宅	一戸町岩館	工事立会

付. 第45回一戸町郷土芸能祭

No	演目	郷土芸能	出演団体
1	権現舞	高屋敷神楽	高屋敷神楽保存会
2	小鳥谷七ツ踊り	小鳥谷七ツ踊り	小鳥谷七ツ踊り保存会
3	鳥舞	田中新山社神楽	田中新山社神楽保存会
4	盆舞	小友神楽	小友神楽保存会
5	来田七ツ物	来田七ツ物	来田七ツ物保存会
6	根反鹿踊り	根反鹿踊り	根反鹿踊り保存会

2 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等
1. 旧朴館家住宅保存修理委員会	○期日 ①11月17日 第1回委員会 ○内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴館家住宅保存修理に係る方針等に関して意見を求めた	①委員6名 オブザーバー1名
2. 旧朴館家住宅保存修理事業	○期日・場所 ①9月27日 研修 弘前市・黒石市 ②11月2日 小島谷小学校総合学習 ③12月8日 小島谷小学校見学 ○内容 旧朴館家住宅の保存修理に向けて住民の理解を深めるための周知活動を行った	①15名 ②児童7名 ③児童7名
3. 朴館家住宅保存会への活動支援	○期日 ①5月30日 総会 ②6～3月 火燃やし ○内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援した	会員8名

3 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等
1. 文化財普及活動	○内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知した ①広報いちのへ掲載 ②ホームページ更新	①計12回 ②随時
2. 地域住民との連携	○内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行った ①国指定史跡 奥州街道 ②国指定特別天然記念物 根反の大珪化木 ③国指定天然記念物 藤島のフジ ④国指定重要文化財 旧朴館家住宅 ⑤県指定有形文化財 西方寺毘沙門堂 ⑥町指定史跡 姉帯城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会、関屋町内会、自然と歴史の会 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤西法寺町内会 ⑥姉帯地区住民
3. 奥州街道ウォークへの協力	○期日・場所 ①5月28日 高屋敷 ②6月25日 摺糠、中山 ③9月17日 白子坂、小性堂 ④10月29日 一戸宿、浪打峠 ○内容 IGRいわて銀河鉄道主催「銀河ハイキング 歴史街道を歩く2023 奥州街道」	①22名 ②23名 ③20名 ④30名
	○期日・場所 8月9日 白子坂・小性堂 ○内容 県北振興局土木部主催「道の日ウォーキング」	50名

事業名	実施内容	参加人数等
4. 南部「御城印」プロジェクトへの参加連携	○期日・場所 7月29日～ 御所野縄文博物館 ○内容 南部氏ゆかりの城館である姉帯城の「御城印」作成と販売を行い、史跡整備、認知度向上や地域活性化などへの貢献を目指す	582枚
	○期日・場所 9月23日 一戸町コミュニティセンターほか ○内容 図書館フィールドワークin姉帯城	14名
5. 企画展開催	○期日・場所 10月14日～11月26日 御所野縄文博物館 ○内容 御所野遺跡史跡指定30周年記念 令和5年度企画展「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」	1,950名
	○期日 ①10月14日 ②11月3日 ③11月18日 ○内容 展示解説	①8名 ②13名 ③8名
6. いちのへ魅力再発見ツアー	○期日・場所 ①11月2日 奥中山地区 ②11月8日 鳥海地区 ③11月12日 一戸地区 ○内容 各地区センターが実施する町内文化財の内容や魅力を知るツアーの案内などの協力	①12名 ②15名 ③8名
7. 民俗資料等収蔵施設（旧小島谷中学校）一般公開	○期日・場所 11月11日 旧小島谷中学校 ○内容 小島谷地区文化祭の開催に合わせ、民俗資料等を収蔵している旧小島谷中学校を一般公開した	17名
8. その他	○期日・内容 ①11月3～5日 一戸町文化祭展示 一戸地区センター ②2月9～12日 いちのへの宝展 一戸町コミュニティセンター ③2月7日 出前授業 旧小島谷中学校民具見学 ④2月26日 出前授業 昔の暮らし	①－ ②－ ③小島谷小3名 ④一戸南小9名

南部「御城印」プロジェクトへの参加連携



姉帯城御城印



図書館フィールドワークin姉帯城

その他

文化財行政推進体制

事業名	実施内容	参加人数等
1. 文化財調査 専門委員会	○期日・場所 ①5月1日 第1回委員会 一戸地区センター ②3月26日 第2回委員会 一戸地区センター ○内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	①委員4名 ②委員4名
2. 二戸地区 文化財調査委員等 連絡協議会(共)	○期日・場所 ①6月15日 理事会 二戸地区合同庁舎 ②7月11日 総会 二戸地区合同庁舎 研修会 鳥越観音 ○内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①委員2名 職員1名 ②委員1名 職員1名
3. 二戸地区文化財 担当者研修会(共)	○期日・場所 11月24日 御所野縄文博物館 ○内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	職員2名
4. 全国史跡整備 市町村協議会	○期日・場所 ①10月4～6日 総会・エクスカッション 埼玉県川越市 ②11月17日 臨時大会 ホテルニューオータニ ○内容 史跡整備に関する調査研究およびその具体的方策の推進を図る	①欠席 ②職員1名
5. 全国史跡整備 市町村協議会 東北地区協議会	○期日・場所 ①7月5日 総会 宮城県松島町 ②7月6日 研修会 宮城県七ヶ浜町 ○内容 史跡整備に関する調査研究およびその具体的方策の推進を図る	①職員1名 ②欠席
6. 岩手県史跡整備 市町村協議会	○期日・場所 ①6月23日 総会 紫波町情報交流館 ②2月19、20日 研修会 大槌文化交流センターおしゃっち ほか ○内容 史跡整備に関する調査研究およびその具体的方策の推進を図る	①職員1名 ②職員2名

4 貸出資料一覧

(1) 写真資料

No	申請者名	掲載先	資料名・点数	貸出期間
1	株式会社 ABCアーク	「歴史人 7号」縄文特集	御所野遺跡出土のアスファルト塊ほか 2点	令和5年5月20日～ 令和5年5月31日
2	株式会社 NHKプロモーション	「デザインミュージアムジャパン展」の広報	御所野縄文博物館内 1点	令和5年6月1日～ 令和6年3月31日
3	個人	オンラインイベント「JAPAN HOUSE SaoPaulo バーチャルツアー」	御所野遺跡ほか 5点	令和5年6月7日
4	建築思潮研究所	「住宅建築」2023年10月号 特集「現代と土間の縁」	東ムラ壱穴住居 1点	令和5年8月19日～ 令和5年10月18日

No	申請者名	掲載先	資料名・点数	貸出期間
5	障害福祉サービス事業所「ワーク」	缶バッジ・マグネットデザイン	御所野遺跡ほか 11点	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
6	株式会社 アートボックス	展覧会「北の縄文世界と国宝展」会場販売商品	土器ほか 2点	令和5年6月14日～ 令和5年7月20日
7	個人	勤務先社内報内	御所野空撮 1点	令和5年7月1日～ 令和5年8月31日
8	株式会社 岩手日日新聞	観光情報誌「岩手の誇」	鼻曲り土面ほか 18点	令和5年7月15日～
9	株式会社 仙台紙工印刷	トヨタユニオンニュース2023年夏号	西ムラ 1点	令和5年8月10日～ 令和5年12月31日
10	一戸商工会	ナカムラスポーツ店横断幕看板に使用	西ムラほか 4点	令和5年8月18日～ 令和6年3月31日
11	滝沢市埋蔵文化財センター	「湯舟沢環状列石」リーフレット	御所野遺跡 配石遺構 2点	令和5年9月8日～
12	北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議	「浄法寺漆×御所野縄文」イベント周知用チラシ	御所野遺跡空撮ほか 2点	令和5年9月20日～ 令和5年10月15日
13	一戸町立図書館	缶バッジデザイン	愛染明王菊花散蓬葉鏡 ほか 2点	令和5年9月23日
14	岩手県東北広域振興局	NHK仙台放送局制作番組「もりすた1」	羽付き縄文人ほか 5点	令和5年9月28日～ 令和5年11月30日
15	一関市立博物館	縄文体験型イベント「ワクドキ★縄文」	縄文はいんイラスト 1点	令和5年10月8日～ 令和5年12月31日
16	株式会社 NHKエデュケーション	予備校・塾内で使用する学習教材用	堅穴住居再現映像 1点	令和8年4月1日～ 令和11年2月28日
17	東日本旅客鉄道 株式会社	御所野縄文遺跡PR動画	鼻曲り土面ほか 8点	令和5年12月20日～ 令和6年11月30日
18	個人	道地駒木部落の写真集	年中行事	令和5年11月16日～ 令和6年3月31日
19	株式会社スタジオタッククリエイティブ	児童書「楽しく学べる歴史図鑑 土偶」（仮題）	御所野遺跡 盛土遺構 1点	令和6年2月16日～
20	個人	京都府立大学学術報告人文 第75号	旧朴館家住宅 1点	令和5年12月25日～
21	二戸市教育委員会	二戸市文化財調査報告書第4集「大宮神社蔵金剛力士像修理事業報告書」	鳥越観音仁王像（阿形・叶形） 1点	令和5年12月25日～
22	東御市教育委員会	東御市図書館「東御市最大の縄文集落 郡一久保在家遺跡展」内で展示	竹細工の編み方 6点	令和6年2月29日～ 令和6年3月25日
23	いわてカシオペアブランド推進協議会	ガイドブック作成のため	御所野縄文公園の風景 ほか2点	令和6年3月25日～

(2) 実物資料

No	申請者名	掲載先	資料名・点数	貸出期間
1	株式会社 NHKプロモーション	「DESIGN MUSEUM JAPAN」展	御所野遺跡出土磨製石 茶ほか 56点	令和4年11月7日～ 令和6年9月上旬
2	北海道博物館	特別展「北の縄文世界と国宝」	御所野遺跡 深鉢形土 器ほか 36点	令和5年6月20日～ 令和5年7月22日
3	さいたま市教育委員会	学会発表・学術論文（三内丸山遺跡 特別研究、年報）	御所野遺跡出土土器・ 土製品一式	令和5年12月17日
4	金沢大学	X線CT解析（非破壊分析）及び塗 膜分析（遊離片1点の破壊分析）を 行うため	山井遺跡出土藍胎漆器 1点（遊離片5点を含 む）	令和6年2月25日～ 令和6年5月12日

■企画展アンケートの実施

令和5年度は御所野遺跡跡指定30周年記念企画展「2023年！いちのへをたどる歴史の旅」を開催した。本企画展は、御所野遺跡と縄文時代から近世に至るまでの一戸町内各地区の遺跡や文化財を取り上げ、一戸町の歴史や文化と、その魅力を紹介する内容となっている。

企画展開催期間中、アンケート用紙を配布し、記入を利用者の任意による自己記入式で行った。

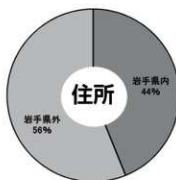
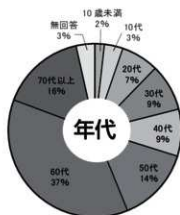
アンケートの設問は、年代、住所、認知方法、満足度（1～5の5段階）、興味深かった・面白かった展示、関心のあるテーマである。

開催期間…10月14日（土）～11月26日（日）

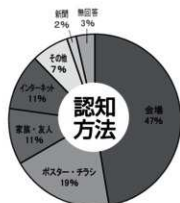
観覧者数…1,951名（53人/日）

回答件数…57件

（グラフ一部抜粋）



令和5年度企画展チラシ



展示状況

Ⅲ 御所野縄文博物館運営状況

1 施設概要

(1) 施設の名称と位置

- ① 名称：御所野縄文博物館
- ② 住所：岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野 2
- ③ 指定管理者：いちのへ文化・芸術NPO（令和3年度～令和5年度）

(2) 施設の概要

- ① 構造：鉄筋コンクリート造（一部プレキャストコンクリート造）
- ② 規模：建築面積 1,719.0㎡

延床面積 2,637.2㎡（1階 1,476.00㎡、2階 992.88㎡、屋根裏 168.27㎡）

- ③ 建築設計：株式会社環境デザイン研究所
- ④ 建築工事：株式会社田中建設・株式会社一戸建設特別共同企業体
- ⑤ 展示設計：株式会社環境デザイン研究所
- ⑥ 展示施工：株式会社丹青社

(3) 主要施設・面積

埋蔵文化財センター

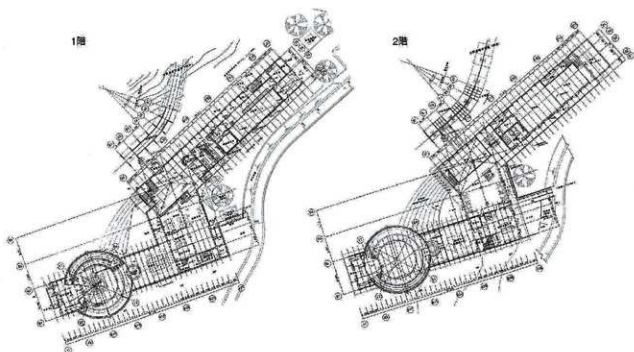
地域拠点整備事業

共有部分

機能	面積 (㎡)
収 蔵	251.10
調 査・ 研 究	158.60
管 理	75.00
学 習	273.40
そ の 他	547.25
共 有 部 分	196.00
合 計	1,501.35

機能	面積 (㎡)
体 験 学 習	68.30
展 示	685.80
そ の 他	283.99
共 有 部 分	155.80
合 計	1,193.89

機能	面積 (㎡)
機 械 室	15.10
そ の 他	336.70
合 計	351.80



御所野縄文博物館 平面図

2 来場者利用状況

(1) 令和5年度来場者利用状況

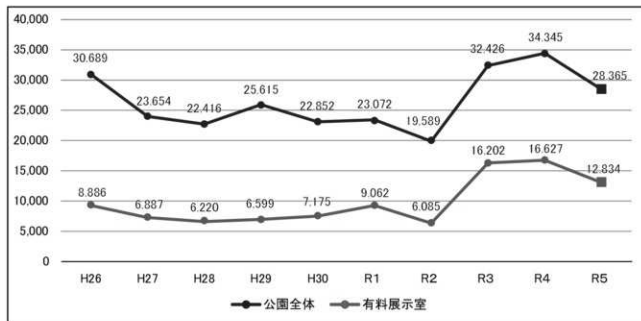
月	開館 日数	一 般			大 学 生			小 中 学 生	高 校 生	減 免 入 館 者	博 物 館 入 館 者 計	館内施設利用 (会議室等)	公 園 入 場 者 計
		個人	団体	売掛分	個人	団体	売掛分						
4月	26	498	0	124	5	0	3	63	13	55	761	57	2,154
5月	27	1,211	131	165	26	0	7	239	118	152	2,049	161	4,142
6月	26	667	227	64	7	0	1	455	0	85	1,506	362	2,663
7月	26	714	158	98	11	0	3	138	10	74	1,206	148	2,792
8月	28	1,082	251	208	40	23	6	304	28	119	2,061	226	3,883
9月	26	798	253	123	25	0	7	140	7	91	1,444	82	2,940
10月	26	1,007	227	104	16	30	3	108	22	156	1,673	5	4,089
11月	25	418	97	67	0	0	1	149	21	227	980	0	2,229
12月	21	119	0	17	4	0	0	10	1	56	207	77	662
1月	24	120	4	26	5	42	1	19	2	15	234	92	766
2月	25	189	42	44	9	0	5	20	1	27	337	141	908
3月	26	225	0	49	16	0	2	40	20	24	376	88	1,137
合計	306	7,048	1,390	1,089	164	95	39	1,685	243	1,081	12,834	1,439※	28,365

※館内施設利用（会議室等）は博物館入館者計に含まれる

(2) 学校利用状況

令和5年度の学校利用はのべ50校（保育所・こども園2校、小学校34校、中学校5校、高等学校・専門学校6校、特別支援学校2校、大学3校）1,358人の利用があった。前年度利用数と比較すると、学校数約68%、利用人数約53%であり、減少している。このうち、修学旅行先として5校（小学校4校、大学1校）144人の利用があり、すべて岩手県内の学校の利用である。

(3) 本館における過去10年間の来場者数の推移



(4) アンケート結果

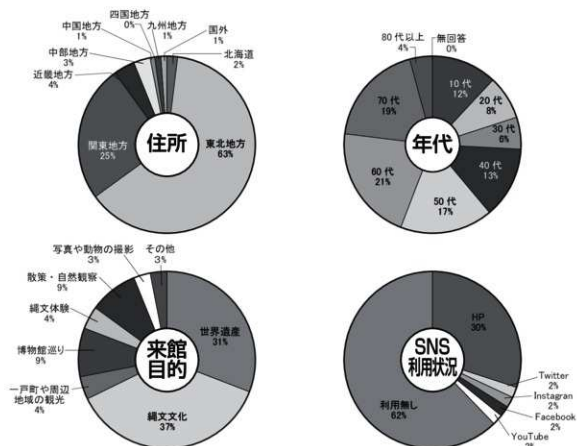
期間中、入館時の受付でアンケート用紙を配布し、記入を利用者の任意による自己記入式で行った。
アンケートの設問は、回答者の住所、年齢、交通手段、来館回数、来館目的、公園や博物館の印象、SNS利用状況、意見・感想である。

□期間…令和5年4月1日～令和6年3月31日

□来館者数…12,834件

□回答件数…2,168件

(グラフ一部抜粋)



期間中、縄文遺跡群世界遺産本部による来訪者動向調査が実施された。

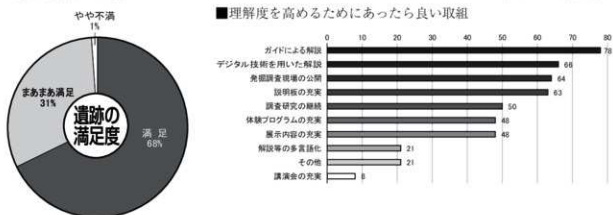
アンケートの設問は、回答者の住所、来訪回数、滞在時間、理解度、満足度などである。

□期間…令和5年8月1～31日

□来館者数…2,061件

□回答件数…355件

(グラフ一部抜粋)



3 教育普及活動

(1) 御所野縄文プログラム

令和5年度は去年に引き続き、子どもから大人まで気軽にものづくりが楽しめる「てづくりプログラム」、御所野縄文公園周辺の「縄文里山」を利用し、縄文時代のくらしやものづくりに迫る「まるっと里山プログラム」、御所野縄文公園や博物館の資料について楽しく学ぶことを目的とした「ごしょのde学び体験プログラム」を実施した。

① 縄文体験

	体験内容	人数
手 づ く り プ ロ グ ラ ム	土器づくり(野焼き:500g)	44名
	土器づくり(野焼き:1kg)	59名
	土器づくり(窯焼き:500g)	36名
	土器づくり(窯焼き:1kg)	42名
	土笛づくり	52名
	勾玉づくり	249名
	樹皮のストラップ	98名
	繊維のストラップ	55名
	樹皮の花カゴづくり	76名
	縄文編みのコースターづくり(麻糸)	20名
	縄文編みのコースターづくり(繊維)	4名
	ミニオカリナに絵を描く	204名
	組みひもづくり	59名
	お守りづくり	82名
	色いろ葉っぱバック	125名
	木でつくる森の仲間たち	8名

	体験内容	人数
ま る っ と 里 山 プ ロ グ ラ ム	カゴをつくろう	22名
	縄文の縄をつくろう	25名
	縄文の布をつくろう アカソ編	15名
	縄文の布をつくろう カラムシ編	6名
	バードウォッチング	19名
ご し ょ の de ま な び プ ロ グ ラ ム	縄文土器で煮炊き体験	10名
	ぬいぐるみおとまり会	11名
	縄文の星空観察会～夏～	10名
	縄文の星空観察会～秋～	10名
	御所野縄文博物館で記者体験!	4名
	ドキドキ考古学者体験	5名
	正月飾りをつくろう	12名
	縄文の星空観察会～冬～	10名
	一戸町の絵馬を描いてみよう!	2名
	冬の縄文公園を歩こう	中止
縄文の星空観察会～春～	中止	

② 出張体験

No	月日	体験内容	団体名・イベント名	会場	人数
1	5月22日	勾玉づくり	小鳥谷学童クラブ	小鳥谷学童クラブ(一戸町)	14名
2	5月28日	ミニオカリナ、樹皮のストラップ	藤島のフジまつり	一戸町立小鳥谷小学校(一戸町)	20名
3	6月4日	ミニオカリナ、樹皮のストラップ	高森高原まつり	高森高原(一戸町)	49名
4	7月31日	色いろ葉っぱバック	奥中山学童クラブ	奥中山学童クラブ(一戸町)	28名
5	8月3日	樹皮の花カゴづくり	英語キャンプ	奥中山高原センターハウス(一戸町)	8名
6	10月5日	土器づくり(野焼き500g)	一戸町立一戸南小学校5・6年	一戸町立一戸南小学校(一戸町)	28名
7	11月1日	樹皮の花カゴづくり	軽米町高齢者教室第51期寿大 学 第8回講座	軽米町農村環境改善センター (軽米町)	37名
8	11月29日	縄ない体験	岩手県3つの世界遺産児童交 流会	一戸町コミュニティセンター (一戸町)	38名
9	12月6日	御所野考古学体験	一戸町立奥中山小学校4年生	一戸町立奥中山小学校(一戸町)	17名
10	1月13日	土器づくり(窯焼き1kg)	一戸子供の家保育園	一戸子供の家保育園(一戸町)	19名

No	月 日	体 験 内 容	団体名・イベント名	会 場	人数
11	2月3日	お守りづくり	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館サポートスタッフ、一般受講者	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館	25名

(2) 縄文里山活用事業

No	月 日	事 業 名	内 容	人 数
1	4～3月	里山観察会	一戸町地域おこし協力隊と共同でササ刈り、植物観察を行う。	—

(3) 講演・講座

① 御所野講座

高田和徳館長による御所野遺跡における建物復元の取り組みや縄文里山づくり事業などをテーマとした「御所野講座」を実施した。参加人数は平均16人、合計188人が参加。

No	月 日	テ ー マ	人数	No	月 日	テ ー マ	人数
1	4月22日	縄文人は水をどのように利用したか	20名	7	10月28日	御所野縄文公園をガイドする	15名
2	5月27日	サハリンに土屋根建物を探して	11名	8	11月25日	御所野縄文博物館をガイドする	14名
3	6月24日	御所野遺跡と世界の土屋根について	19名	9	12月23日	御所野遺跡と一戸町の遺産(1) 縄文人も見た・利用した珪化木	12名
4	7月22日	御所野遺跡から見た縄文ムラの仕組みとその移り変わり	11名	10	1月27日	御所野遺跡と一戸町の遺産(2) 奥州街道	12名
5	8月26日	御所野遺跡が終わるころ縄文時代が変わった	20名	11	2月17日	御所野遺跡と一戸町の遺産(3) 濫検道と周辺の文化財	13名
6	9月23日	円筒土器文化のはじまりと十和田湖(特別講師 東京大学名誉教授 辻 誠一郎氏)	17名	12	3月23日	御所野遺跡ものがたりーここまでわかった！御所野遺跡ー	24名

② 出張講演

No	月 日	内 容	場 所	担当名	人 数
1	6月12日	岩手県高等学校教育研究会地歴・公民部会定期総会「岩手県の縄文文化を世界へー御所野遺跡を中心にー」	花巻市	高田和徳	30名
2	6月23日	一戸ユネスコ協会 令和5年度文化財巡り「鳥海の歴史散歩」	一戸町	高田和徳	21名
3	8月29日	一戸町立一戸南小学校5・6年生「土屋根住居について」	一戸町	高田和徳	28名
4	9月20日	一戸町立一戸南小学校5・6年生「縄文土器について」	一戸町	高田和徳 中市日女子	28名
5	10月20日	大更ふれあい大学第5回講座「世界遺産 御所野遺跡を知る」	八幡平市	鈴木雪野	38名
6	10月29日	国際ソロプチミスト盛岡認証20周年記念式典「御所野遺跡からの縄文人のメッセージ」	盛岡市	高田和徳	130名
7	11月4・5日	国際研究会・国際シンポジウム 地域に根差した「地域資源」の価値伝達と活用 岩手県御所野遺跡の例	北海道札幌市	高田和徳	50名

No	月 日	内 容	場 所	担当名	人 数
8	11月12日	縄文文化大学講座 「北の縄文遺跡と土屋根建物跡—岩手県御所野遺跡—」	長野県 茅野市	高田和徳	50名
9	1月30日	宮古ユネスコ協会・日本教育会岩手県支部宮古地区会 新春講演会「御所野遺跡はなぜ世界遺産になったのか」	宮古市	高田和徳	—
10	2月3日	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館サポートスタッフ・ 一般受講者「御所野縄文博物館の体験指導について」	青森県 八戸市	中市日女子 木村由美子	25名
11	2月22日	一戸町立一戸中学校2年生「御所野遺跡について」	一戸町	鈴木雪野	58名

(4) 原稿執筆

No	年 月 日	内 容	担当名
1	令和5年4月～ 令和6年3月発行	「とちの実通信」「ぐるっと」vol.37-48	後藤宗一郎

(5) 博物館実習・インターンシップ

No	月 日	内 容	担 当 名
1	7月6日	御所野縄文博物館における職業体験	奥中山中学校 1名
2	9月27・28日	御所野縄文博物館における職業体験	一戸中学校 2名

(6) 展 示

No	事 業 名	内 容	人 数
1	ききのつりはし写真展Ⅰ 及び柴田外男作品展	○期日 4月27日～5月20日 ○内容 公園の四季の魅力を紹介する写真展、柴田外男氏の御所野遺跡に関する作品展を実施 主催 地域おこし協力隊 上野光久氏	3,540名
2	写真展「縄文の森の小さないきものたち」	○期日 7月21日～8月20日 ○内容 写真家の小池聡氏が撮影した御所野縄文公園と縄文の森に生息する生き物たちの写真を展示。	4,039名

ごしよのdeまなびプログラム



縄文土器で煮炊き体験



ドキドキ考古学者体験

4 調査研究

No	事業名	内 容	人 数
1	金沢大学との共同研究	○期日 ①6月10、11日 ②7月16日、17日 ③10月16、17日 ④2月23～25日 ○内容 縄文時代の植物利用について、金沢大学との共同実験を行う	-
2	縄文時代の植生復元・植物利用調査	○期日 ①5月17日 ②6月6日 ○内容 公園内中央にあるウルシの木の更新実験を行う	9名
3	資料調査	○期日・場所 2月5～9日 国立歴史民俗博物館 ○内容 一戸町蒔前遺跡から出土した資料の調査	1名

5 ボランティア活動状況

(1) 御所野遺跡を支える会活動状況（会員数24名）

① 目 的

御所野遺跡のボランティア活動をとおして、郷土の歴史に誇りをもつとともに、御所野遺跡の文化財を正しく受け継ぎ、その歴史的事実と価値を学び伝え、文化財愛護の思想の普及に努めることを目的とする。

② 事業内容

- ・御所野遺跡を愛護し、地域の財産として保全する活動をする。
- ・御所野遺跡の案内活動をする。
- ・町内外に対し、御所野遺跡の啓蒙、啓発、宣伝などをおこなう。
- ・会員相互の交流を図る。
- ・その他、この会の目的を達成するために必要なことをおこなう。

③ 令和5年度事業内容

- ・活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活 動 日 数	11	23	18	19	19	21	22	15	1	0	1	0	150
ガイド実績延人数	19	39	33	35	35	40	44	29	1	0	2	0	277
案内した見学者数	122	403	371	352	495	492	465	257	2	0	42	0	3,001
案内した団体数	48	110	68	93	69	99	89	47	1	0	1	0	625

(単位：人)

・活 動

- 4月2日 通常総会（15名参加）
- 4月22日 春のクリーンデー（11名参加）
- 4月24日 御所野遺跡縄文の森研修（3名参加）
- 6月6日 水場の泥上げ（2名参加）
- 7月13日 北上山地民俗資料館との交流会（3名参加）
- 7月30日 世界遺産登録2周年記念講演会（4名参加）
- 8月1日 「地域計画」聞き取り調査協力（7名参加）
- 8月21日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会（11名参加）

- 9月27日 小坂町観光ガイドとの意見交換会（7名参加）
- 11月11日 秋のクリーンデー（10名参加）
- 11月12日 ボランティア交流・研修会（2名参加）
- 11月14日 「岩手の3つの世界遺産ガイド交流会」（8名参加）
- 11月26日 北東北3県縄文遺跡ガイド意見交換会（1名参加）
- 12月8～10日 「北海道・北東北の縄文遺跡群」ガイド研修・情報交換会（2名参加）
- 12月14日 役員会（7名参加）
- 12月15日 臨時総会（10名参加）
- 3月23日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会臨時総会（11名参加）
- 3月31日 臨時総会（24名参加）

(2) 自然と歴史の会活動状況（会員数20名）

① 目的

自然および歴史についての情報交換と相互の研鑽視察を図る事を目的とする。

② 事業内容

- ・自然観察会および歴史探訪
- ・講演会および研修会
- ・会報の発行
- ・一戸町教育委員会への協力

③ 令和5年度事業内容

・活動

- 4月20日 ばくち石踏査（4名参加）
- 4月22日 春のクリーンデー（3名参加）
- 6月20日 鳥海地区文化ウォーク（一戸ユネスコ協会共催）
- 7月8日 通常総会（7名参加）
- 8月4日 一里塚刈払い（8名参加）
- 8月21日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会（10名参加）
- 11月11日 秋のクリーンデー（3名参加）
- 1月23日 臨時総会（10名参加）
- 3月23日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会臨時総会（10名参加）

(3) 御所野発掘友の会活動状況（会員数21名）

① 目標

この会は、一戸バイパス建設に伴う遺跡発掘調査からはじまった遺跡発掘調査に携わった方々で構成され、一戸町の古くて最も新しい財産である「御所野縄文公園」を守るとともに、会員同士の親睦を図ることを目的とする。

② 令和5年度事業内容

・活動

- 4月10日 通常総会
- 4月22日 春のクリーンデー昼食づくり（12名参加）
- 5月15日 堅穴建物の清掃（3名参加）

- 6月12日 事務所裏の草取り（8名参加）
- 7月10日 事務所裏の草取り（10名参加）
- 7月31日 倉庫清掃（8名参加）
- 8月21日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会（3名参加）
- 9月11日 事務所裏の草取り（9名参加）
- 10月6日 2023ユネスコ運動岩手大会〈一戸大会〉昼食づくり（3名参加）
- 10月7日 2023ユネスコ運動岩手大会〈一戸大会〉昼食づくり（7名参加）
- 11月11日 秋のクリーンデー昼食づくり（12名参加）
- 3月23日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会臨時総会（16名参加）

(4) 御所野遺跡ボランティア連絡協議会（会員数60名）

① 目的

御所野縄文公園で活動しているボランティアグループの会員が相互に連携しながら親睦を深め、御所野遺跡の保存と活用を図ることを目的とする。

② 事業内容

- ・御所野縄文公園内施設および植物の維持管理
- ・御所野縄文公園見学者のガイド
- ・各団体の育成、会員相互の交流に関する事業
- ・その他目的達成のために必要な事業

③ 令和5年度事業内容

・活動

- 4月11日 役員会（10名参加）
- 4月22日 通常総会（16名参加）
- 8月21日 御所野遺跡ボランティア連絡協議会研修会（12名参加）
- 12月15日 役員会（6名参加）
- 3月23日 臨時総会（40名参加）

(5) 御所野愛護少年団活動状況（会員数50名）

① 目標

御所野遺跡の愛護活動を通して、自分たちの郷土に誇りを持ち、環境や歴史的財産を守ろうとする態度を育てる。

② 活動の重点

- ・御所野の自然や歴史に目を向け、自主的に探求活動に取り組ませる。
- ・御所野の自然や環境を守る活動を自主的、主体的に行う、実践的な態度を育てる。

③ 活動内容

・組織

一戸町立一戸南小学校の3年生から6年生までの児童により御所野愛護少年団を結成し、活動を行う。

団員：3年生8名、4年生14名、5年生12名、6年生16名 計50名

・活動内容

御所野縄文公園について理解を深める活動をする。（博物館見学、体験学習等）

御所野縄文公園の環境を保護する活動を行う。(植栽活動、清掃活動等)

御所野縄文公園を多くの人に知らせる活動を行う。(パンフレット作成、学習発表会等)

令和5年度活動報告

- 4月11日 結団式 (50名参加)
- 4月20日 一戸南小学校教職員へガイド (16名参加)
- 4月28日 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞 (2名参加)
- 5月25日 縄文の森学習会 (28名参加)
- 5月30日 春の御所野愛護活動、修学旅行PRリハーサル (73名参加)
- 6月7～8日 修学旅行でのPR活動 (16名参加)
- 6月21～22日 宿泊研修でのPR活動 (12名参加)
- 6月28日 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞報告会及びガイド (42名参加)
- 6月29日 御所野縄文学習 (16名参加)
- 7月4日 御所野縄文学習 (28名参加)
- 7月25日 町内新任教職員ガイド (28名参加)
二戸市立金田一小学校職員への成果発表紹介 (28名参加)
- 7月28日 北上翔南高等学校PTA研修会ガイド (28名参加)
- 8月29日 盛岡教育事務所ガイド (28名参加)
御所野縄文学習 (28名参加)
- 9月20日 御所野縄文学習 (28名参加)
- 9月25日 一戸町立図書館職員へガイド (16名参加)
- 10月4日 御所野縄文学習 (14名参加)
- 10月5日 御所野縄文学習 (28名参加)
- 10月19日 御所野縄文学習 (16名参加)
- 10月31日 秋の御所野愛護活動 (73名参加)
- 11月29日 岩手3つの世界遺産児童交流会 (16名参加)
- 2月25日 令和5年度調査成果発表会 (5年生12名参加)

(6) 一戸町立一戸中学校

令和5年度活動報告

- 5月31日 駐車場周辺の除草 (1年生57名参加)
- 6月30日 JRC委員会の地域ボランティア活動として園路清掃 (13名参加)



春のクリーンデー



愛護少年団ガイド

IV 旧朴館家住宅活用状況

1 概要

旧朴館家住宅は、小鳥谷駅から南へ約2.6kmに所在する東北地方最大規模の茅葺民家である。文久2年(1862)に建てられたと伝えられる江戸時代末期の建造物であり、間口16間半(約30m)、奥行9間(約16m)、総面積約150坪(約495㎡)の規模を有する。

朴館家は、二戸市浄法寺町漆沢の墓地にあった墓石の年代や、朴館家の菩提寺であった実相寺に残る記録から、江戸時代中期に漆沢から現在地に移り住んだと考えられる。大正～昭和初期には山林約750ha、田畑約12haを所有する大地主であった。朴館家は駒木地区における生業や信仰、年中行事の中心的な役割を担っていた。

このように旧朴館家住宅は、盛岡藩領における上層民家の特徴をよく示しており、高い価値が認められることから平成23年11月29日、国の重要文化財に指定された。

現在は毎年6月頃に旧朴館家住宅において神楽公開を開催し、一戸町内の神楽の披露の場としている。

2 朴館家住宅保存会活動状況

(1) 目的

朴館家住宅保存会は、国指定重要文化財「旧朴館家住宅」の保存を図るとともに、地域の文化財を正しく継承し、あわせて文化財愛護思想の普及に資することを目的とする。

(2) 事業

朴館家住宅保存会は、目的を達成するために次の事業を行う。

- ① 旧朴館家住宅の保存のため、必要な修繕を行い、その保存に努める。
- ② 旧朴館家住宅の文化財的価値を正しく認識し、宣伝啓発に努める。

(3) 事業実績

事業名	実施状況	参加人数
1. 総会	○期日 5月30日	11名
2. 神楽公開	○期日 6月18日 ○場所 旧朴館家住宅 ○内容 出演：高屋敷神楽保存会	66名
3. 火入れ	○期日 年間39回 ○内容 防湿・防虫のため囲炉裏への火入れを行う。	のべ78名



神楽公開



小鳥谷小学校によるガイド

3 見学ノート記帳者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	21	51	9	22	22	13	24	15	5	2	8	8	200

(単位：人)

4 見学者からのメッセージ

見学月	感	想	市町村名	年代
4月	すばらしい文化財だと思いました。大切に保存していただくことを望みます。ありがとうございました。		宮城県仙台市	50代
	大きな家でびっくりしました。こうもりが見れなかったので残念。まだ季節ではなかったのでしょうか。		青森県むつ市	50代
	昔の家にとてもびっくり!! 子供がとてもよろこんでみていました。		宮城県仙台市	70代 30代 10代
	非常に大きい建物です。		神奈川県鎌倉市	-
	昔を思いおこしながら見させて頂きました。すごい! 保存に頭が下がります。		岩手県	60代
	すばらしい建物でした。保存に頭が下がります。		東京都八王子市	50代
	なつかしいです。		岩手県二戸市	90代
5月	すばらしい建ものですね。ありがとうございました。		-	70代
	かっこよかった!!		神奈川県横浜市	10代 40代 50代
	すばらしいしか言いようがなく、保存維持するのが大変かと。しかし、木の持つ特性を生かした物造りで立派ですね。		岩手県岩手町	70代
	レトロな雰囲気の良い邸宅が好きなのでとても気に入りました。母はこの邸宅を見て「昔の我が家を思い出した」と言っていました。		東京都目黒区	10代
	奥座敷の雰囲気が好きでした。床の間も居間もあり。		千葉県千葉市	40代
	このような古民家をいつまでも残して欲しい! 維持するのは大変でしょうけど、お願いします。		岩手県矢巾町	60代
	立派な材料をふんだんに使って建築されていることに感心しました。		岩手県大船渡市	60代
	関心があって見学させていただきました。長く保存できればいいと思うが…		岩手県軽米町	60代
	父が油絵を描いていて、かやぶき屋根の風景がなつかしくて立ち寄りました。		茨城県北茨城市	40代
	東北の家は大きい。大切に。		北海道函館市	60代
	大きい家でびっくりしました。		神奈川県横浜市	40代
	とても大きくて、昔なつかしい感じ。		岩手県矢巾町	50代
	いつも感心いたします。		岩手県盛岡市	40代
	一度来てみたかったです。大きな旧家、今後も存続して行って欲しいです。来れて良かったです。		岩手県釜石市	70代
	一度来てみたかったので良かったです。感動しました。来て良かったです。		岩手県二戸市 青森県六戸町	30代 40代
すごい!!		青森県	40代	

見学月	感 想	市町村名	年代
5月	とても広くてゆったりした気持ちになります。昔を体験できました。視野が広まりました。3日程前にテレビのCMで知りました。	岩手県滝沢市	60代
	とにかく大きい!! むかしの人は、こんなに広い場所に住んでいたんだ…	秋田県秋田市	10代以下
	すごい一声!	-	-
	すばらしい! 研修に来たいと思います。	岩手県盛岡市	30代
	大きくびっくりでした。懐かしい道具がいっぱいでした。	岩手県盛岡市	60代
	なつかしいの一声です。	岩手県岩手町	80代
	すばらしい建物です。保存してほしいと思います。	岩手県盛岡市	60代
	応急処置が痛々しいです。早急の復旧を願います。国の宝です。	岩手県二戸市	80代
	昔なつかしい家でした。	岩手県北上市	60代
	素晴らしい。幕末の建物とは!	岩手県盛岡市	70代
	福祉施設利用者8名、職員2名の10名で来ました。みなさん「すごい」「見に来てよかった」と笑顔でした。ありがとうございます。	岩手県岩手町	-
	建物に興味があります。	-	70代
	すごいとしか言い様がありません。使用している木材が素晴らしいかったです。	岩手県矢巾町	60代
	いいものを見せて頂きました。ありがとうございます。	岩手県盛岡市	40代
	近くにこのような家屋があることを知りませんでした。県南の曲り家より大きく感銘を受けました。保存は大変と思いますが、いつまでも良い状態にあるよう頑張ってください。本日はありがとうございます。	岩手県久慈市	40代
	とても感動しました!!	岩手県盛岡市	-
	大きくて、昔の人が出てきそうでした。	-	-
見学できてよかったです!! (中まで見れると思いませんでした)	岩手県盛岡市	60代	
はりの太さにびっくりです。	岩手県盛岡市	60代	
見学させて頂き、来て良かったです。大きさにびっくりしました。	岩手県盛岡市	60代	
すばらしい。ありがとうございます。	宮城県東松島市	70代	
ど迫りに圧倒されました。家屋内がまるで工場にもなっている感じです。新潟県酒田市には、本間様には及びもないがせめてなりたや殿様という言葉があるようですが、その岩手版のようです。ほおのきだてという御名前も泰然とした感じで由緒家系が知りたくなります。とにかくこんな巨大木造家宅が震災も火事も生き延びたことに魂が込められているように思えます。風呂釜のようなのはご飯釜なのでしょう。	埼玉県富士見市	70代	
6月	すごくおもむきがあり感動しました。見学が出来て良かったです。明日の神楽とても見たかったです。ありがとうございます。	岩手県一関市	40代
	今日は神楽を見学させていただきます。伝統を守る子供達に感心していました。	青森県五戸町	60代
	今日、神楽を見学に来ました。今日、時間があつたので見て回りましたが、ざつと39畳あるし、らんまもあるし、本床もあるのにはびっくりしました。大黒柱もありました。	岩手県一戸町	-
	私は2回目ですが、妻は初めてなので2人で来ました。朴館家の素晴らしいさに感動です。舞の方々に感心しました。暑いところ御苦勞様でした。又見たいです。	岩手県一戸町	80代
	また来ます。4月に改めて来ます!!	岩手県八戸市	50代

見学月	感	想	市町村名	年代
7月	いつかは解体修理を町（公費）で行って長い保存をしてほしいと願います。		埼玉県白岡市	70代
	深く感謝申し上げます。		岩手県花巻市	50代
	いつ来ても新しい発見があり、うれしいです。子どもも見学しました。		岩手県一戸町	60代
	とても貴重な古民家に感動です。		ケニア共和国 ナイロビ市	50代
	歴史的に貴重なものですね。道具類にも感動です。		-	40代
	とてもなつかしい感じがしました。感動しました。		岩手県矢巾町	70代
	美しさに感動しました。ありがとうございました。		東京都目黒区	50代
	なつかしいです。とてもすばらしかったです。感動でした！		岩手県八幡平市	60代
	入って直ぐの土間の美しいこと。従来の生活の姿が思い起こせます。保存頂き感動しております。ありがとうございます。		宮城県栗原市	20代 70代
	きれいに保存されていて、素晴らしいお宅だと思いました。ありがとうございます。		岩手県盛岡市	60代
	昔の人の住まいの様子を感じることができました。素晴らしい保存がされていて、ありがとうございます。		東京都葛飾区	40代
	東北の家を初めて見ました。材料の感じが北陸や関西方面とは違って面白かったです。修復がうまくいくといいです。		福井県	50代
	とても素敵な雰囲気でした。母と2人で見学しました。また来たいです。ありがとうございます。		岩手県花巻市	20代
	今まで見た古民家の中で一番大きい！		東京都練馬区	50代
	自転車で来ました（東京から）。いいとご発見。ありがとうございます。		東京都世田谷区	-
遠野 千葉家につぐインパクト		宮城県	40代	
8月	とても広くてびっくりしました。見学できて、よかったです。		東京都	80代 40代 10代
	昔の実家の本家を思い出しました。間口は21間だったと思います。		埼玉県志木市	60代 70代
	すばらしかったです！		岩手県盛岡市	40代
	昔の家なので末永く残して欲しいです。なつかしい。何に使うか道具に名前と名前と使い道を記名してほしいです。		三重県桑名市	60代
	とても落ち着く場所でした。日本の古い道具がいっぱいあり、たくさんみれてうれしかった。		埼玉県	30代
	今年もくることができました。日本の伝統を大切に守りたいです。		神奈川県川崎市	50代
	日本の古い道具が多くあってたくさん見れてよかった。わら人形が印象的でした。		東京都	50代
	とても懐かしい道具がたくさんありました。昔のおいちゃんの家にいった気分になりました。		東京都荒川区	50代
	日本の古い道具が多くあったりおめんが印象的でたくさん日本人の文化が見れて良かったです。^^わら人形が印象的のこりました。ありがとうございます！！		-	60代
	貴重な歴史的建物を見学でき、感謝します。材料がどれもぜいたくに使用され、感動しました。昔のすごさにおどろかされました。これからも大切に保護していきたいものです。地元に住ながらなかなか来れないで居ました。		東京都中野区 岩手県一戸町	50代 60代

見月	感 想	市町村名	年代
8月	古い物見なつかしくかんじた	-	70代
	なつかしい!!いろいろ勉強になりました。	神奈川県横浜市	20代
	なつかしい感じ。昔使ったものがあった。これからも大変でしょうが大切に保存してほしいですね。	岩手県盛岡市	70代
	日本(岩手県)の伝統家屋を見させていただきありがとうございます。今まで見てきた家屋(民家)で一番大きい?広がったです。迫力がすごい!!	岩手県盛岡市	40代
	深く感謝申し上げます。	岩手県花巻市	50代
	なつかしい家の香りがしました。	-	70代
	立派です!	熊本県宇城市	-
9月	以前よりは是非拝見させていただきたいと思っておりました。きれいに保存されていて、管理の苦勞は如何ばかりかと思えます。とても貴重な建物です。	福島県郡山市	-
	広くてさすが豪農の住宅ですね!	静岡県静岡市	60代
	広くて立派な古民家で感動です。アズちゃんのおかげで良い出会いとなりました。ナリちゃんと一緒にゆっくり見ちゃう。ジョーさん、私もザシキワラシに。	神奈川県川崎市	40代
	今迄見たとの古民家より広くて立派でした。良いものを見せていただきました。	青森県八戸市	50代
	なつかしい物でいっぱい。タイムスリップしました。	岩手県岩泉町	80代
	コウモリ見ることができました。立派で素敵でした。	岩手県盛岡市	50代
	すぐ近くにこんなに素晴らしい文化財があったなんて…。町民として守り続けたいです。	岩手県一戸町	40代
10月	横浜から来ました。あまりの立派さに感動しました。	神奈川県横浜市	80代
	いつか歴史小説を仕上げたいと思い参考にしたく訪れました。重要な知見とひらめきを得ることができ、感謝に堪えません。大切な地域の財産、どうか今後も守り続けて下さい。	岩手県軽米町	30代
	立派な建物を残して下さいありがとうございます。	北海道札幌市	30代
	びっくりする位立派でした。	青森県八戸市	50代
	すばらかった!歴史を感じます。	岩手県盛岡市	50代
	北海道にはない建物で感動しました!	北海道札幌市	50代
	私の育った家も江戸時代に建立(1700年代)された家です。大きさは約半分の75坪前後です。	岩手県奥州市	-
10月	ありがとうございます!	青森県十和田市	50代
	平糠のイベントに来たかえりです。初めての訪問でした。少々カンパお入れしておきました。	岩手県盛岡市	70代
	お手入れが行き届いてきれいですね。ずっと一度来てみたいと思っておりました。今日はとても良い物を見せてもらいました。ありがとうございます。	岩手県二戸市	70代
	以前よりは是非拝見したいと思っておりました。すばらしい建物でした。岩手の建築史を知るうえで欠かせない建物だと思います。	青森県つがる市	20代
	漆ロウの道具も建物も見に来ました。モースの導きにより。建物が心配です。	青森県弘前市 ほか	70代 60代
	初めて来ました(東京都内から)	東京都	70代
	なつかしくみせていただきました。今日は仕事だったので、又ゆっくり来たいと思います。	岩手県八幡平市	50代
とてもすばらしいです。残してほしいたてものです。	岩手県盛岡市	60代	

見学期	感	想	市町村名	年代
10月	すばらしい建物でした。残して下さり感謝。若い世代に伝えることが出来ますネ！		青森県八戸市	40代
	すばらしい!!写真で見たよりgood!また来ます。		岩手県雫石町	70代
	昔の道具が沢山ありなつかしく拝見いたしました。貴重な品ばかりでした。		岩手県軽米町	70代
	昔の人の知恵がたくさん感じられて勉強になった。		-	70代 80代
	ただただすばらしい言葉はなし。		静岡県浜松市	80代
	すばらしいです。		青森県黒石市	60代
11月	これだけの建物すばらしいですね。豪農というだけのことはありますね。なつかしい道具類もあり、幼少期を思い出されました。ありがとうございます。		岩手県滝沢市	70代
	ありがとうございました。感謝しております。		岩手県花巻市	50代
	これだけのものが現存しているのがすばらしいです!次はゆっくり拝見したいです。		岩手県岩手町	40代 ~80代
	5~6年の見学学習できました。		岩手県一戸町	-
	親子で見学に来ました。		-	60代
	北上市から来ました。		-	-
	大きな農家の生活ぶりが感じられました。たいせつに保存して下さいありがとうございます。		岩手県盛岡市	50代
	ありがとうございました。		埼玉県深谷市	60代
	スミのようなよい香りがしています。大きな住宅で驚きました。ありがとうございます。		岩手県一戸町	60代
	岩手県ユネスコ連絡協議会3名		-	-
12月	大きな古民家の中をよく見ることができて感激しました。いろりの火にあたって、お話も聞いて、楽しかったです。やさしいもともちそうさまでした。ありがとうございます。		北海道札幌市	60代
	古い大きな民家で感動しました。来年5月に奥州街道を歩くツアーでお客様を連れてくる予定です。		埼玉県杉戸町	70代
	昔の実家を思い出しました。ありがとうございます。また来たいと思います。		-	60代
	まず、今も残っているということが素晴らしいです。できるだけ長く保存していただきたいと思います。		青森県むつ市	40代
1月	歴史を感じました。		東京都	20代
	こういう建物は、永く大切にしていきたいです。		盛岡市	40代
2月	うまく保存できれば良いと思いました。趣があり良い建物です。		愛知県豊橋市	60代
	岩手県最大の古民家と聞き、訪問させていただきました。曲屋ではなく直屋なので、興味深く見学させていただきました。		岩手県八幡平市	70代
	山形・新庄にあります矢作家住宅も見学しました。当家は最大です。国指定の文化財なのでもっとお金を出してもらって下さい。		秋田県湯沢市	70代
3月	すばらしい建物ですね。ぜひ残して欲しいです。		兵庫県神戸市	50代
	豪壮で素晴らしい。		兵庫県芦屋市	60代
	いつ訪れても圧巻の古民家です。一戸町の誇りです!!		岩手県一戸町	50代
	大きな家でおどろきました。		岩手県盛岡市	40代

V 姉帯城跡活用状況

1 概要

姉帯城跡は小島谷駅から西北西に約1.3km、馬淵川北岸の標高約200～250mに位置する。中世南部氏の一族である姉帯氏の居館跡といわれている。

城跡は、東西2つの館で構成され、西の館は東西約130m、南北60m、東の館は東西約120m、南北100mの規模をもつ。2つの館の間には堀と土塁が築かれ、東の館の東端には二重の堀が巡る。西の館の西側には東西約50m、南北20mの平場があり、平場の西側に堀切状の窪みが残っている。

平成8年度～10年度の3年間、一戸町教育委員会が学術調査を行なったところ、15～16世紀の建物跡や墓塚と考えられる土坑などが多数見つかった。土坑からは人骨のほか、銅鏡や古銭などの副葬品が出土した。周辺からは槍や刀、鍔金具や鉄砲玉鋳型などの武具が多く見つかり、合戦の痕跡がうかがえる。その他、中国産や国産の陶磁器などの生活用品とともに、天目茶碗や茶臼などの茶器道具も見つかり、戦国時代の地方豪族の豊かな生活の一端も明らかになっている。

保存状態が極めて良好で城館の特徴をよく残していることから、平成5年5月1日、町史跡に指定された。

現在は農村公園として整備され、地域の有志の方々による草刈り等が行われている。

2 見学ノート記帳者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	2	1	2	1	5	3	0	0	0	0	2	16

(単位：人)

3 見学者からのメッセージ

見学月	感	想	市町村名
5月	保存状態も良く、整備も良かったです。パンフレット作成ありがとうございました。		山梨県甲斐市
6月	姉帯のルーツが知りたくて参りました。御協力によりここにたどりつきました。ありがとうございます!!		茨城県那珂市
7月	初めて見学させていただきました。一度来てみたかった城跡だったので、ゆっくり見学できてよかったです。立派なパンフレットをありがとうございます。		岩手県九戸郡
8月	旧姓「姉帯」の縁で来ました。		岐阜県不破郡
9月	眺望の良いところ。日々管理御苦労様です。		愛知県知多郡
	立派なパンフありがとうございます。草刈り大変だと思いますががんばってください。		東京都中野区
	小島谷のおまつりを見にきました。天気に恵まれてとてもよかったです。		岩手県一戸町
10月	九戸政実の本を読んできました。		青森県三沢市
3月	念願の姉帯城にようやく来てうれしいです。車がどこまで、道幅など分からなかったで、下から歩いてきたけどすぐでした。歴史ロマンにしばらく浸りたいと思います。キレイに整備されていて素晴らしいです!		岩手県一戸町

Ⅵ 一戸町地域伝統技術交流館利用状況

1 施設概要

施設の名称	一戸町地域伝統技術交流館		主 な 施 設 の 仕 様	施設内容	面積(㎡)	主な利用内容
施設住所	二戸郡一戸町岩館字馬場平31-2			伝統技術交流館	283.08	伝統技術の伝承活動、交流活動
設置者	一戸町教育委員会			郷土芸能・伝統技術 用具室	73.92	伝統技術用具の保管
管理委託団体	岩館地区公民館					
施設構造	構造材料	鉄骨		休憩室・会議室	69.72	体験・休憩室・会議
	階数	1階				
	延床面積	616.6㎡				
	竣工年	平成14年		伝統料理体験室・実 習室	32.76	伝統料理の体験実習
供用開始年度	平成14年度					
利用対象	町内郷土芸能保存会等					
設置目的	郷土芸能及び伝統技術の伝承活動、体験交流					

2 利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	140	137	110	135	99	172	113	71	122	88	151	135	1,473

(単位：人)

資 料 編

1. 令和5年度調査成果発表会資料

令和5年度調査成果発表会開催要項

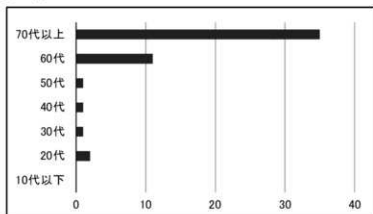
- 1 目的 御所野遺跡の調査研究を中心に、その他町内の文化財に関わるさまざまな活動を町民に周知し、共有することで、地域の歴史文化の価値を再確認し、それらを生かした、新たな一戸の文化やまちづくりの創造を目指す機会とする。
- 2 日時 令和6年2月25日(日) 13:00～15:15
- 3 会場 御所野縄文博物館 会議室(定員 60名)
- 4 主催 一戸町教育委員会
- 5 共催 いちのへ文化・芸術NPO
- 6 内容
 - (1) 13:00～13:05 開会行事
 - (2) 13:05～13:25 一戸南小学校 御所野愛護少年団 5年生 活動成果発表
 - (3) 13:30～14:10 活動報告
 - ・「関係性マーケティングにおける郷土芸能と観客による価値共創」
岩手県立大学総合政策学部 櫻田 輝
 - ・「竪穴建物復元と縄文里山一割板材製作実験について」
御所野縄文博物館 鈴木雪野
(休憩 10分)
 - (4) 14:20～15:20 講演
「食用以外の縄文時代の植物利用—令和5年度御所野縄文博物館との共同研究について」
講師：佐々木由香氏 金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授
 - (5) 15:20～ 閉会行事
- 7 その他 入場無料、事前申込不要 問い合わせ：御所野縄文博物館 (TEL 0195-32-2652)

□アンケートの実施について

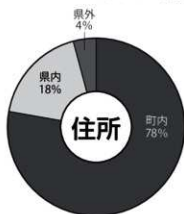
次回取組に活かすため、来場時の受付でアンケート用紙を配布し、記入を利用者の任意による自己記入で行った。アンケートの設問は、年代、来場者の住所、知ったきっかけ、評価、感想、今後希望するテーマである。

町内からの来場者が8割を占め、年代は70代以上が多く見受けられた。また、来場した7割が発表会の内容がわかりやすかったと回答した。

■年代



(グラフ一部抜粋)



1) はじめに

① 研究背景・目的

岩手県は、「郷土芸能の宝庫」として各地に郷土芸能が伝承されている。しかしながら、現在、過疎化・少子化により郷土芸能の消滅が危惧され、多くの保存団体が「後継者不足」という問題を抱えている。また、周囲の郷土芸能に対する興味の低さも問題の一つである。

郷土芸能保存団体と観客が相互にどのような繋がりを求めているのか整理し、郷土芸能保存団体から観客へのアプローチ方法を具体化することで、固定客・リピート客確保や後継者育成につなげることを目的とする。

② 関係性マーケティングとは

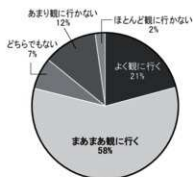
企業と顧客・消費者間に築かれていく長期的な取引関係と構築の維持を目指して、展開していくことである。

2) アンケート調査

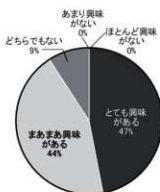
アンケート調査は、観客のニーズを明らかにすることを目的として実施した。調査対象は令和5年11月19日開催、第49回二戸地区郷土芸能発表会兼第45回一戸町郷土芸能祭の来場客、郷土芸能保存団体とその保存会員である。

【来場者アンケート（一部抜粋）】

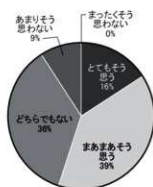
■郷土芸能の鑑賞頻度



■郷土芸能への興味度合い

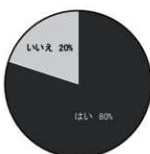


■保存団体と対話することへの興味

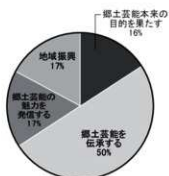


【保存会員アンケート（一部抜粋）】

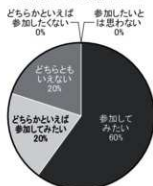
■所属団体の地域出身地であるか



■団体の活動目的



■観客との交流について



3) インタビュー調査

インタビュー調査では、「早池峰神楽」大償神楽保存会会長・阿部輝雄氏から話を伺い、演者側のニーズを明らかにすることを目的として実施した（令和5年12月17日実施）。

大償神楽の一番の活動目的として、伝承していくことをあげており、次の世代へ受け継いでいきたいと話していた。

また、舞納め、舞初め、春の舞など公演後に「直会」があり、神楽衆と観客の交流の場を設け、観客との繋がりを図っている。



出典：発表者撮影
神楽の館 舞納めの様子（令和5年12月17日撮影）

4) これから

調査結果から、発表機会の提供、子どもの体験機会を促進するため、一戸町内における郷土芸能の定期公演が可能な施設の設置、あるいは観客との距離が近い公演の場の確保や、公演における観客との交流の場の確保を検討されることが必要である。また、企業と協働体制を構築することで、体験ツアーなどを企画し、観光利用につなげることも可能である。

今後の郷土芸能において、どのように付加価値を与えるか、どのようにサポート・継続していくのが課題となる。

参考文献

- 川又啓子（2000）「事例研究『劇団ふるさときゃらばん』：地域需要開拓への関係性マーケティング戦略の実践」『文化経済学』2(2), pp.63-70.
- 先崎智哉・十代田朗・津々見崇（2021）「民俗芸能の継承と活用に関する基礎的研究—民族芸能の保存団体の活動に着目して—」『日本観光研究学会機関誌 特集号』(33), pp.35-143.
- 高崎義幸（2014）「郷土芸能による地域振興とその課題—広島県北広島町の神楽団実態調査から—」『広島修大論集』55(1), pp.91-104.
- 傳行聰（2004）「関係性マーケティングにおける理論研究の方向」『三田商学研究』475(5), pp.129-150.
- 中島奈津子（2022）「早池峰大償神楽の師弟構造について」『佛敎大学総合研究所紀要』(29), pp.91-106.
- 和田充夫（1999）『関係性マーケティングと演劇消費—熱烈ファンの創造と維持の構図—』ダイヤモンド社.
- 一般社団法人花巻観光協会「ユネスコ無形文化遺産 早池峰神楽」（一般社団法人花巻観光協会HP）<<https://www.kanko-hanamake.jp/special/kagura/>>（アクセス日：2024年1月9日）
- 岩手県「学校一覧」（岩手県HP）<<https://www.pref.iwate.jp/kyouikubunka/kyouiku/ippan/toukei/1006311.html>>（アクセス日：2023年12月22日）
- 総務省統計局「国勢調査 都道府県・市町村別の主な結果」（統計局HP）<<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001049104&cycle=0&tclass1=000001049105&tclass2val=0>>（アクセス日：2024年1月9日）

1) 令和5年度の復元竪穴建物修理計画

東ムラの大型竪穴建物（HB120）、中央ムラ南側の中型竪穴建物（FE48）の2棟を修理した。

東ムラの建物は平成11年に復元し、平成21年に解体修理、平成28年に天井部分の樹皮を葺き替えた。今年度は特に傷みの激しい北側の屋根を修理した。

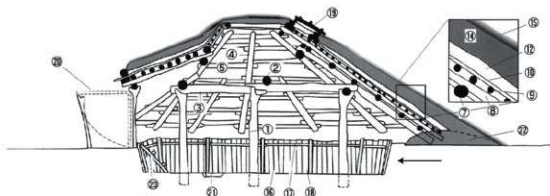
中央ムラの中型建物は平成12年に復元し、平成25年に解体修理を行った。今年度は全体の解体修理を行った。

修理に必要な、建築材とするクリの木は一戸町奥中山地区の山林で入手。

2) 割板材製作実験について

御所野遺跡の西ムラの竪穴建物跡から、加工された木材が炭になった状態で出土した。縄文人は当時、どのように木材を加工していたのか。

今までは建物復元にあたり、板材をつくる際は現代の道具を使用していたが、今回は土壁を支える堰板に焦点を当て、縄文時代に使われたと考えられる道具で割板材製作実験を行った。



- | | | | | | | | | | |
|--------|------|---------|---------|----------|-----|---------|---------|------|---------|
| ①主柱 | ②梁 | ③桁 | ④又首(隅木) | ⑤又首(桁まで) | ⑥棟木 | ⑦母屋 | ⑧垂木 | ⑨エツリ | ⑩野地(樹皮) |
| ⑪野地おさえ | ⑫ソダ木 | ⑬ソダ木おさえ | ⑭土層 | ⑮草層 | ⑯堰板 | ⑰堰板留め横材 | ⑱堰板固定用杖 | ⑲天窓 | ⑳入口開口部 |
| ㉑炉 | ㉒周壇 | ㉓梯子 | | | | | | | |

FE48-01住復原図(2000年度復原)

出典：御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅰ(2004)を筆者一部加筆

- ・製作する材：高さ1 m20 cm
約5、6 cm × 約8～10 cmの割板材
- ・使用した道具：復元した磨製石斧、木製の槌、木製のくさび



←伐採したクリの木(直径29 cm)



磨製石斧

【7月18日（火）】 場所：一戸町奥中山地区のクリ伐採現場

- (1)伐採 (2)高さ1m40cmに切る (3)樹皮をはがす
(4)縦5.6cm×横8～10cmの材が取れるまで分割する

割れるまで・・・半割：石斧29回、くさび122回打ち込み

その後・・・板目：石斧10～30回、くさび36～75回

柁目：石斧5～23回、くさび2～40回

石斧のみで12回でも割れた

【7月29日（土）】 場所：御所野縄文公園 水場

木材は使用前に乾燥させておくことが一般的だが、石器と木製の道具のみで製材することを考えると、縄文人は加工しやすくするために何か工夫を施していた可能性がある。今回は、木をしばらく水に漬けることで割りやすくなるか否かを試してみた。

- (1) クリを割る（樹皮つき 直径12cm、高さ80cm、水漬け期間4月下旬～7/29）

割れるまで・・・板目：石斧63回、

くさび16回

柁目：石斧のみ8回

- (2) 7月18日に切った丸太と、2年前に伐採し乾燥させていた丸太（①～⑤）を水に漬ける。



【8月4日（金）】 場所：御所野縄文公園 水場

7月29日に水に漬けたうちの1本を割る。

- ①：樹皮なし 直径17cm、高さ1m（7/18に伐採したもの）

割れるまで・・・板目：石斧30回、くさび18回

柁目：(1)石斧5回、くさび4回 (2)石斧のみ8回



伐採直後と比較して割れやすくなった。



【8月22日（火）】 場所：御所野縄文公園 水場

7月29日に水に漬けた残りの4本を割る

- ②：樹皮なし 直径11cm、高さ1m（水漬け前に約2年乾燥させていた）

割れるまで・・・板目：石斧19回、くさび12回

- ③：樹皮つき 直径22cm、高さ70cm（水漬け前に約2年乾燥させていた）

割れるまで・・・板目：石斧14回、くさび46回※曲がった

柁目：石斧18回、くさび26回

④：樹皮なし 直径12cm、高さ1m（7/18に伐採、水漬け前に1/4に割った）

割れるまで・・・板目：石斧14回、くさび5回

柁目：石斧2～3回、くさび6～30回

⑤：樹皮つき 直径17cm、高さ70cm（水漬け前に約2年乾燥させていた）

割れるまで・・・板目：石斧6～15回、くさび29～62回

柁目：石斧のみ13回

今回の結果として…

- ・伐採後すぐに樹皮をはがし、11日後に水漬けした丸太①、④が比較的割りやすかった。
- ・乾燥が進んだ状態で樹皮つきのまま水漬けした③、⑤は割りにくかった。
- ・樹皮なしで水に漬けた①、②、④のうち、乾燥させてから水漬けした②が最も割りにくかった。1週間水漬けした①と3週間水漬けした④では、割りやすさに大きな差は見られなかったため、水漬け期間の長さは特に影響しないようだった。
- ・縄文人は伐採直後に樹皮をはがし、すぐに水漬けした後で加工していたか、伐採直後、その場で木が水分を含んでいるうちに加工した可能性がある。
- ・割りやすい柁目でも節がある場所で割れ目が曲がるため、均等な材を得るための最大のポイントは節の有無と考えられる。縄文人は建築材用の木に節ができないよう、または節が大きくなるように、幼木の頃から枝打ちを徹底するなどして木を育てていたのではないだろうか。

3) これからの縄文里山づくり

現在、縄文の森の一部で建築材用のクリや薪用のコナラなど、縄文人が利用していた様々な木を育てています。皆さんもぜひ縄文里山づくりにご参加ください。



2. 御所野遺跡DF22竪穴住居跡出土の保存処理された炭化材樹種同定結果

植田 弥生・能城 修一

サンプリング実施日 2019年6月19日（水） 2019年9月20日（金） 2023年6月11日（日）

1. DF22住の概要

縄文時代中期中葉、大木10（新）、西側調査区、焼失竪穴住居
南北8.40m、東西6.80m、楕円形で南壁は直線的である砲弾形
南東壁際に複式炉、葺き土の屋根

放射性炭素年代測定値（小林ほか、2006）

試料IWGS-288（DF22-01住 出土区DF20 IV6のオニグルミ）

3970±20yrBP（PLD-4445）、2495-2460 calBC（52.3%）、2565-2520 calBC（43.1%）

DF22住の炭化材はパリオ・サーヴェイ株式会社によって樹種同定がなされ報告されている（一戸町教育委員会、2004：p.100、表3）。今回は保存処理した炭化材を対象に樹種同定を行った。

2. 結果

取り上げNo.ごとの同定結果は表1に示した。

取り上げNo.に枝番があるのは、炭化材の軸方向が異なっていた、または材が重なり上下関係があった、などの産状に応じて各部位から採取したことを示している。

今回の調査でもクリが大多数を占め、ほかに少数であるがオニグルミ、サクラ属・コナラ節・キハダ・ヤマグワ・ウルシが検出され、パリオ・サーヴェイ株式会社（2004）の報告結果とはほぼ同様であった（一戸町教育委員会、2004）。出土樹種はすべて落葉広葉樹である。

クリ材は、埋土中の層別別に分けたC群（床上）やB群（床上10cm以下・床上10～25cm・床上25～40cm）そしてD群（住居内壁に沿って直立する炭化材）の各層位から満遍なく出土している。産状図に照らしてもクリ材は大小あり、焼失により建築材が崩落して壊れ散り大小に散在した状況が読み取れる。「取り上げNo.152、176の②ケ口」は長さ95cm・幅15cm・厚さ3cm、「取り上げNo.181の②」は長さ84cm・22cm・厚さ5cmを留める大きな炭化材で、産状図からも垂木と推測される。

(1) クリ以外の樹種の出土分布傾向

今回の調査からもクリ以外に、オニグルミ9点（取り上げNo.68-3、No.87、No.153-1、No.156-1、No.177の③左上、No.183-2、No.185-1、No.216-3、No.226-2）とサクラ属（取り上げNo.97の①）・コナラ節（取り上げNo.164）・キハダ（取り上げNo.211-2）・ヤマグワ（取り上げNo.204-1、204-2）・ウルシ（取り上げNo.171）が各1点ずつ出土した。

オニグルミ・サクラ属・コナラ節・コナラ属・キハダの出土位置を、今回調査と前回の調査結果（一戸町教育委員会、2004）と合わせて検討したが、出土位置に偏りや集中の傾向は見られなかった。これらの樹種は、クリ材と共にまたは周辺にクリ材が出土しており、クリ材の補助として散在的に使われていたのかもしれない。特別な用途や使用位置を探ることはできなかった。

(2) 直立する炭化材の樹種

出土状況から住居内壁は直立する板材で取り囲まれていたと推定されている。内壁板材はクリが最も

多い。ほかにヤマウルシ（一戸町教育委員会，2004：p.100，表3の試料No.472）が知られていたが、今回調査ではウルシ（取り上げNo.171）・オニグルミ（取り上げNo.177の③左上）・ヤマグワ（取り上げNo.204）が認められた。いずれの樹種もその材質は縦に割裂性がよく板材加工に適した材が使われていた。

(3) 直立板材No.171ウルシについて（図版1）

取り上げNo.171は、住居内の北西縁の壁際に直立し壁板と推測されている。保存処理された炭化材の4か所から試料を採取した。そのうち3か所の部位は保存が悪く炭粉の塊で同定不可であった。残る1か所は細かく割れた状態でその小破片はウルシと同定された。今回ウルシと同定した材組織の根拠を以下に記す。

材組織記載 No.171ウルシ *Toxicodendron verniciflua* (Stokes) F.A.Barkley

（ウルシおよびヤマウルシは新分類体系APGにより、ウルシ属 *Rhus* から ツタウルシ属 *Toxicodendron* に変更されている。以下で引用する Noshiro and Suzuki (2004) の内容は、論文中で使用されている *Rhus* のままで引用した。）

残存していた早材部には大きな道管が単独または2個が放射方向に複合し徐々に径を減じて分布している。早材部から晩材部へ移行する部分の管孔は、接線径が約122～83μmの中型からやや小型の道管である。晩材部は厚壁で小型の管孔が放射方向に2～5個が配列し、その接線径は22～44μmである。道管の穿孔は単一、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は主には平伏細胞からなり方形細胞が混じり縁辺部や上下端に直立細胞が見られる異性、1～3細胞幅で主には3細胞幅、30～50細胞高、結晶細胞がある。

今回調査したNo.171は、一戸町教育委員会（2004：p.100，p.125）の表3のNo.57 試料No.472 ヤマウルシと産状図からも同一試料であることが判った。ヤマウルシと報告されているが、この時点ではヤマウルシとウルシは共に半環孔材で材組織の類似性が高く両種の識別は困難とされていた。その後、Noshiro and Suzuki (2004) により現生材の比較検討に基づき両種の識別点が明らかにされた。その識別点は、ウルシはヤマウルシよりも道管の径が大きく、早材部から晩材部へ移行する部位（年輪内の中間部）の管孔の移行は緩やかで管孔径は徐々に減少する。また放射組織は3～4細胞幅が多いことであった。現生材の幼齢から成熟材における年輪内の管孔径も、ヤマウルシ *Rhus trichocarpa* の平均は17～97μmで、ウルシ *Rhus verniciflua* の平均は28～150μmで、樹輪に関わりなくウルシはヤマウルシより道管径が相対的に大きい。

No.171は早材部から晩材部へ移行する部位（年輪内の中間部）の道管は約122～83μmであり、晩材部のもっとも小さい道管径は22μmであった。また放射組織は主に3細胞幅であることから、ウルシ *Toxicodendron verniciflua* (Stokes) F.A.Barkleyと判定した。

3. 考察

(1) ウルシ材が検出された意義

縄文時代前期の三内丸山遺跡・岩渡小谷4遺跡・向田(18)遺跡そして縄文時代晩期の是川中居遺跡からは、漆製品やウルシの加工木・木製品・自然木が出土している（Noshiro and Suzuki, 2004, 2006）。これらの遺跡に加え、大矢沢および一王寺(1)遺跡における花粉分析からも、集落形成時期にクリの花粉増加に伴いウルシ属またはウルシと特定できる花粉が付随するように検出されることから、集落形成に連れて周辺にクリとウルシが栽培されていた様相が判ってきた。（吉川・辻，1998；後藤・辻，2000；吉川，

2004：吉川ほか，2006：辻ほか，2017，2018）。

御所野遺跡では縄文時代中期に集落が形成されると、A地点の堆積物からクリとウルシの花粉がセットで検出されている（御所野縄文博物館編，2021）。今回の調査では、中期中葉の焼失堅穴住居DF22から建築材の一部にウルシ材が使われていたことが明らかになった。御所野遺跡においても東北一帯の縄文時代集落と同様に、クリと共にウルシが栽培されていた可能性が高まった。

縄文時代出土のウルシ材は、容器や杭・棒が多く、住居跡から建築材に使われていた事例はあまり知られていないのではないと思われる。ウルシに関して東北地方では縄文時代早期や後期・晩期からの事例は多いが、縄文時代中期からのウルシ材の出土例はあまり知られていないようである（鈴木，2020）。

(2) 焼失堅穴住居内から建築材以外に木製品は出土しないのだろうか

住居内に日常置かれていたと考えられる木製品には、削り物、斧柄、掘り棒、火鑽板（火鑽臼）と火鑽杵、丸木弓などが想定される。

炭化材の残存形状や大きさ・太さ・散布状態から、多くは建築材と推測される。しかしその中に木製容器や弓矢や石斧柄などは含まれていないのであろうか。DF22には磨製石斧3点が出土しているが、その石斧柄は燃えて灰になってしまったのだろうか。

出土樹種のクリ・オニグルミ・サクラ属・キハダ・ヤマグワは容器にも使われる樹種であるが、残存状況から木器類の形状を推測することは出来ていない。またこれらが集中出土する地点は見られず、出土位置の深さもB群C群D群で、特定の出土傾向は見られていない（表2）。クリ以外の樹種はB群（床上10cm以下あるいは床上10～40cm）とD群（直立する）からの出土に限られていた。これは主要な建築材であるクリ材の補助的利用の結果であり、生活用具との結びつきは難しいようである。北北東の周辺部にオニグルミの出土がやや集中して見られるが、用途を特定できる形状は確認できそうもない。

火鑽板（火鑽臼）と火鑽杵そして丸木弓は、カヤ・イチイ・スギ・アスナロ・イヌガヤなどの針葉樹材も適しているが、住居内から針葉樹材は見つかっていない。

縄文時代の木器類は、ほとんどが低湿地や河道氾濫原や谷筋の湿地から出土されたもので、堅穴住居跡からの出土例はあまり聞いたことがない。焼失前に持ち出されていたのか、燃え尽きて残っていないか、判然としない。平安時代の111号堅穴住居跡（一戸町教育委員会，2004）からは、種実や織物と共に糸巻状や皿形や杯形の炭化木製品が出土している状況と比べると縄文時代の堅穴住居内には木器類は残されていなかったのであろうか。

4. ま と め

今回の調査からも炭化材のほとんどはクリで、オニグルミ・サクラ属・コナラ節・キハダ・ヤマグワ・ウルシが少数出土した。遺跡内からはDF22やほかの遺構から重要な食料源としてクリ・オニグルミ・トチノキの果実や核が多数出土している。クリとオニグルミは食料源だけではなく建築材としても重要な樹種であったことが判る。特にクリは材質が腐朽しにくいことから縄文時代には建築材に選択使用されていたことは広く知られている。総クリ造りともいえる堅穴住居は当時の人々にとっては、食生活を支えてくれる恵の木クリに囲まれその中に住まうことに特別な感性があったのかもしれない。

今回はウルシの建築材への材利用が確認できたので、すでに検出されていた花粉の情報と合わせて、御所野遺跡においてもウルシの樹種が周辺に生育していた可能性が高まった。

引用文献

- 後藤加奈子・辻 誠一郎, 2000. 青森平野南部, 青森市大谷沢における縄文時代前期以降の植生史, 植生史研究 9(1): 43-53.
- 御所野縄文博物館編, 2021. 縄文里山づくり, 30-31. 新泉社, 東京.
- 一戸町教育委員会, 2004. 御所野遺跡Ⅱ, p.100, 表3.
- 小林謙一・坂本稔・新免歳靖・辻誠一郎・松崎浩之・村本周三, 2006. 御所野遺跡出土種子類の14C年代測定. 御所野遺跡Ⅲ, 204-210. 一戸町教育委員会.
- バリノ・サーヴェイ株式会社, 2004. 炭化材の樹種, 279-280. 御所野遺跡Ⅱ, 一戸町教育委員会.
- Noshiro, N. & Suzuki, M. 2004. *Rhus verniciflua* Stokes grew in Japan since the Early Jomon Period. *Japanese Journal Historical Botany* 12(1):3-11.
- Noshiro, N. & Suzuki, M. 2006. Utilization of forest resources in the early Jomon period at and around the Sannai-maruyama site in Aomori Prefecture, northern Japan. *Japanese Journal of Historical Botany Special Issue* No.2:83-100.
- 鈴木三男, 2020. びっくり!! 縄文植物誌. 同成社.
- 辻 誠一郎・吉川昌伸・吉川純子・植田弥生・鈴木 茂・安 昭炫・横山寛剛・市川健夫・西村広経, 2017. 八戸地域の縄文前期～晩期の景観に関する新試料, 研究紀要第6号, 1-10. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館.
- 辻 誠一郎・安芸早穂子・早川裕弐・吉川昌伸・吉川純子・鈴木 茂・植田弥生・安 昭炫・一木絵里・市川健夫・西村広経, 2018. 八戸地域における縄文時代の環境変動と景観復元, 研究紀要第7号, 1-13. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館.
- 吉川昌伸・辻 誠一郎, 1998. 三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダード・コラムの調査, 青森県埋蔵文化財調査報告書第249集 三内丸山遺跡Ⅸ-第6鉄塔地区調査報告書2-(第2分冊), 11-14. 青森県教育委員会.
- 吉川昌伸, 2004. 向田(18)遺跡における縄文時代の花粉化石群, 野辺地町文化財調査報告書第14集 向田(18)遺跡—国道279号有戸バイパス道路改築事業に伴う発掘調査—(野辺地町立歴史民俗資料館編), 208-213. 青森県野辺地町教育委員会, 野辺地町.
- 吉川昌伸・鈴木 茂・辻 誠一郎・後藤加奈子・村田泰輔, 2006. 三内丸山遺跡の植生史と人の活動, 三内丸山遺跡の生態系史, 植生史研究 特別第2号: 49-82.

表1 御所野遺跡 DF22住 保存処理炭化材の樹種同定結果

取り上げNo	枝番	樹種	実測(cm)			備考	グリット	区	群	図面
			長さ	幅	厚さ					
66	-1	クリ	7.0	4.0	2.0	1年輪:1.5~2.0mm	DF20	Ⅲ-6 (写真ではV区)	D	A
	-2	不可	2.0	2.0	0.5					
	-3	クリ	5.0	1.0	0.5					
	-4	クリ	2.5	1.0	0.5					
	-5	クリ	3.0	1.5	0.5					
	-6	クリ	4.5	2.0	1.0	1年輪:1.0~1.5mm				
68	-1	クリ	16.0	6.0	1.0	1年輪:6.0mm	-	IV-1	B	A
	-2	クリ	24.0	5.0	1.0	1年輪:5.0mm				
	-3	オニグルミ	9.0	3.0	1.0					
69	-1	不可	-	-	-		DF22	V-1	B	A
	-2	クリ	-	-	-					
70		クリ	7.5	7.0	1.0	1年輪:約5.0mm	DF22	V-2	B	A・B
73		クリ	5.0	5.0	1.0		DF20	V-5	C	A
76		クリ	50.0	11.0	5.0	1年輪:約10.0mm 丸太?	DF20	VI-6	B	B
77		クリ	3.0	3.5	0.5	1年輪:1.5~2.0mm	DF20	VI-6	B	B
78	-1	クリ	4.0	8.5	0.5		DF20	VI-6	B	B
	-2	クリ	3.5	4.0	1.5					
79	-1	クリ	9.0	3.5	2.0	1年輪:1.5~2.0mm	DF20	VI-6	B	A
	-2	クリ	8.0	3.0	1.0	1年輪:2.5mm				
80		クリ	7.0	8.0	1.0		DF20	VI-6	B	B
81		不可	7.0	5.0	1.0	粉状塊	DG20	I-5	B	B
82		不可	39.5	4.5	2.0	粉状塊	DF20	VI-5	B	B
84	-1	クリ	14.5	8.5	1.0	1年輪:2.5~3.0mm	DF20	VI-5	B	B
	-2	クリ	6.5	3.0	1.0	1年輪:3.0mm				
85		不可	6.0	6.0	0.5		DF20	VI-5	-	-
87		オニグルミ	9.5	5.0	1.5		DF22	VI-1	B	A
88		クリ	10.5	10.0	2.0	1年輪:3.5mm	DF22	V-1	B	A
89	-1	クリ	26.0	6.0	2.5	1年輪:2.5mm	DF22	VI-1	B	B
	-2	クリ	26.0	6.0	2.5	1年輪:3.0mm				
	-3	クリ	26.0	6.0	1.0					
90		クリ	13.0	8.0	1.0	1年輪:1.5mm	DG20	I-6	B	B
91	-1	クリ	6.0	4.0	1.0	1年輪:2.5mm	DG20	I-6	B	-
	-2	クリ	5.5	4.5	1.5					
	-3	クリ	4.5	4.0	1.5	1年輪:1.5mm、4.0mm				
92	-1	クリ	24.0	8.5	1.0	めか目	DG20	I-6	B	-
	-2	クリ	6.0	6.0	1.0	1年輪:5.0mm±				
93		クリ	7.5	5.5	1.0		DG20	I-6	B	B
94(3)	-1	不可	46.0	8.0	1.5		DG20	I-6	B	-
	-2	クリ	3.0	3.0	0.5					
	-3	クリ	4.5	3.0	2.5					
	-4	クリ	7.0	3.5	1.0					
	-5	クリ	31.0	5.5	0.5	1年輪:5.0mm				
	-6	クリ	2.0	2.5	0.5	1年輪:3.0mm				
96		クリ	13.0	6.0	0.5		DG20	II-6	B	B
	-1	クリ	45.0	10.0	4.0	1年輪:1.5mm、2.0mm				
	-2	クリ	2.5	4.0	1.0					
	-3	クリ	15.0	5.0	1.0	1年輪:1.5~2.0mm				
	-4	クリ	5.0	7.0	1.0					
	-5	クリ	16.0	6.0	1.5	1年輪:2.0~3.0mm				
	-6	クリ	12.0	5.0	0.5					
	-7	クリ	14.0	6.0	3.0					
-8	クリ	13.0	12.0	4.0	1年輪:1.0~5.0mm、芯部に近い材					
97の① (97の下①か)	-1	サクラ属	20.0	7.0	2.0		DG20	II-6	B	B
	-2	サクラ属	11.5	5.0	10.0					
97の下②	-1	クリ	9.0	4.0	0.5		DG20	II-6	C	B
	-2	クリ	21.5	4.0	1.5	1年輪:1.5~2.0mm				
97の下③ (概には97下の③)		不可	15.0	7.5	1.0		DG20	II-6	C	B
98		クリ	-	-	-	小薄破片、放射方向6mmで5年輪	DG20	II-6	B	B
99		クリ	-	-	-	小薄破片、1年輪:2.5mm	DG20	II-6	B	B
100		クリ	-	-	-	小薄破片、1年輪:2mm±	DG22	II-1	B	B
101		クリ	-	-	-	小薄破片、1年輪:2mm	DG22	II-1	B	B
102		クリ	11.0	5.0	1.0		DG22	II-1	B	B
103		クリ	-	-	-	小薄破片、1年輪:2~2.5mm	DG22	II-1	B	B
104		樹皮	-	-	-		DG22	II-1	B	B
105		クリ	-	-	-	微小破片、1年輪:1.5~2.0mm	DG20	III-6	C	B
106		クリ	-	-	-		DG22	III-6	C	B
107		クリ	-	-	-	1年輪:2mm±	DG22	III-1	C	B
108		クリ	17.0	9.0	2.0	節部	DG22	III-1	C	B
109		クリ	42.0	28.0	2.0	1年輪:2.5~3.0mm	DG22	III-1	B	B

取り上げNo	枝番	樹種	実測(cm)			備考	グリット	区	群	図面
			長さ	幅	厚さ					
110	-1	クリ	23.0	13.5	7.5	ぬか目	DG20	Ⅲ-6	B	B
	-2	クリ	23.0	13.5	7.5	1年輪:4mm±				
111	-1	クリ	19.0	7.0	4.0	1年輪:4mm	DG20	Ⅳ-6	D	B
	-2	クリ	19.0	7.0	4.0	1年輪:6mm±				
111の① (111の下の①と対 応)	-1	クリ	23.0	9.0	3.0	1年輪:2~4mm	DG20	Ⅳ-6	C	B
	-2	クリ	23.0	9.0	3.0	1年輪:4mm				
111の下②	-1	クリ	21.0	8.0	0.5	1年輪:4mm	DG20	Ⅳ-6	C	B
	-2	クリ	4.0	4.5	1.0	1年輪:4mm				
112		クリ	21.0	8.5	2.5		DG20	Ⅳ-6	D	B
113		クリ	10.0	5.0	2.0		DG22	Ⅳ-1	B	F
114		クリ	7.5	5.0	1.0	1年輪:4mm	DG22	Ⅳ-1	B	F
115		クリ	29.0	9.5	2.0	1年輪:2.5mm	DG22	Ⅲ-2	B	F
116		不可	9.5	6.0	2.0		DG22	Ⅲ-2	B	F
117	-1	クリ	23.0	8.0	3.0	1年輪:2mm	DG22	Ⅲ-2	B	F
	-2	不可	23.0	8.0	3.0					
118	-1	不可	4.5	2.5	0.5		DG22	Ⅲ-3	B	F
	-2	クリ	5.0	2.5	1.5	1年輪:2mm				
119		クリ	5.5	2.5	0.5		DG22	Ⅲ-3	B	F
120		クリ	4.0	2.0	1.0	1年輪:2mm±	DG22	Ⅱ-2	C	E
121		クリ	3.0	1.5	1.0	樹芯に近い部位、1年輪:1.5~2.0mm	DG22	Ⅱ-3	B	E
122		クリ	15.0	7.5	3.0		DG22	Ⅱ-1	B	B
123	-1	クリ	15.5	4.0	1.0	1年輪:3mm	DG22	Ⅳ-2	B	-
	-2	クリ	15.5	4.0	1.0					
124	-1	広葉樹	21.0	5.5	1.5		DG22	Ⅳ-2	B	F
	-2	不可	4.0	3.0	1.5					
125		クリ	26.0	9.5	2.0	1年輪:4~5mm	DG22	V-1	B	F
126	-1	クリ	9.0	5.0	0.5	1年輪:1.5mm	DG22	V-3	B	F
	-2	クリ	4.0	3.0	0.5	1年輪:1mm、ぬか目				
127		クリ	25.0	6.0	1.5	1年輪:2mm	DG22	Ⅳ-3	B	-
127等と共に 写っている(後書き)		クリ	21.0	10.0	4.5	1年輪:2mm±	DG22	Ⅳ-3	B	E
128	-1	クリ	6.0	4.0	1.0	1年輪:4mm±	DG22	Ⅳ-3	C	E
	-2	クリ	6.5	4.0	1.0	1年輪:2.5mm				
129		クリ	10.0	2.0	2.0	1年輪:1.5mm	DG22	Ⅳ-3	B	E
130		クリ	20.0	9.0	1.0	1年輪:3.0mm	DG22	Ⅳ-3	B	E
131	-1	クリ	2.5	3.0	1.0		DG22	Ⅳ-3	B	E
	-2	クリ	3.5	3.0	0.5	1年輪:2.5mm、板目状				
	-3	クリ	5.5	3.5	1.0					
	-4	クリ	3.0	2.5	1.0					
132		クリ	31.0	9.0	2.0		DG22	V-3	D	F
133		クリ	4.0	2.0	0.5		DG22	Ⅳ-3	B	E
134		クリ	4.0	2.5	0.5		DG22	Ⅳ-3-4 (写真ではⅣ-3)	-	E
135		クリ	18.0	2.0	0.5	1年輪:1.0~1.5mm	DG22	V-3	-	-
136		クリ	10.0	3.0	0.5		DG22	Ⅲ-4 (写真ではⅢ-3)	B	E
137		クリ	14.0	4.5	5.0	1年輪:1.0~2.5mm、放射方向35mmに28年輪	DG22	Ⅲ-3	C	E
138		クリ	4.0	2.0	0.5	1年輪:1.0mm	DG22	Ⅲ-4	B	E
139		クリ	30.0	10.0	3.0	1年輪:2.0~4.0mm	DG22	Ⅲ-4	B	E
140		クリ	-	-	-	1年輪:1.0mm	DG22	Ⅲ-4	B	E
141		クリ	18.0	5.0	1.0	ぬか目、放射方向15mmに12年輪	DG22	Ⅳ-4	D	E
142		クリ	3.0+	3.5	2.5-3.0	1年輪:5.0mm、直立	DG22	Ⅳ-4	B	E
143		クリ	35.0	9.0	2.0	1年輪:8.0mm	DG22	Ⅳ-5	B	D
144	-1	クリ	6.0	3.0	0.5		DG22	Ⅳ-5	B	D
	-2	クリ	5.0	5.0	0.5					
	-3	クリ	9.0	5.0	0.5					
145		クリ	7.0	5.0	1.5	1年輪:6.0mm	DG22	Ⅲ-5	C	D
146	-1	クリ	18.0	8.0	1.5	1年輪:2.5~3.0mm	DG22	Ⅲ-5	B	D
	-2	クリ	8.0	6.0	1.0					
149		クリ	15.0	7.0	0.5	1年輪:1.5~3.5mm	DG22	Ⅲ-4	D	D
150		クリ	6.0	2.0	0.5	ぬか目、1年輪:1.0mm年輪	DG22	Ⅱ-4	B	E
151		クリ	12.0	5.0	0.5	1年輪:2.0mm	DG22	Ⅱ-5	B	D
152		クリ	71.0	14.0	3.0	1年輪:1.5~3.0mm	DG22	I-4	B	E
152.176の ②、②り口		クリ	95.0	15.0	3.0	放射方向1.5mmに8年輪、板目取り?	DG22	I-4	B	E
153	-1	オニグルミ	12.0	5.0	1.0		DG22	I-1	B	図面 No.135
	-2	クリ	6.0	4.0	1.0	ぬか目、放射方向6mmに7年輪				
154	-1	クリ	9.0	10.0	2.0		DG20	Ⅵ-5	B	A
	-2	クリ	4.5	3.5	2.0					

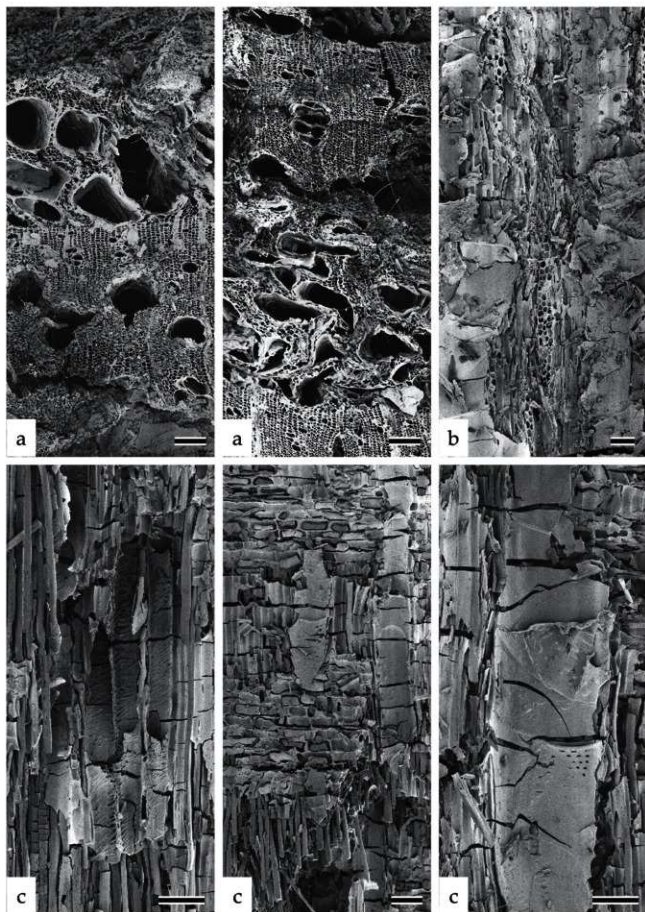
取り上げNo	秩番	樹種	実測(cm)			備考	グリット	区	群	図面
			長さ	幅	厚さ					
155		クリ	17.5	6.0	3.0	1年輪:1.5~2.5mm	DF20	VI-5	B	A
156	-1	オニグルミ	4.0	2.0	0.5		DF20	VI-5	B	B
	-2	クリ	4.0	3.0	0.5					
	-3	クリ	4.0	2.0	0.5	1年輪:2.5mm				
157		クリ	-	-	-	1年輪:5.0mm	DG20	I-5	B	B
158		クリ	9.0	4.0	0.5	1年輪:1.5~4.0mm	DG20	I-5	B	B
159		クリ	3.0	1.0	0.5	1年輪:5.0+mm	DG20	VI-5	B	B
160		クリ	7.0	4.5	0.5		DG20	I-5	B	B
161		クリ	8.5	5.0	0.5	1年輪:2.0mm	DG20	I-5	B	B
162		クリ	-	2.0	0.5	1年輪:2.0mm	DG20	I-5	B	B
163		クリ	14.0	7.0	1.0	1年輪:2.0mm	DG20	I-6	B	B
164	-1	コナラ節	4.5	2.5	0.5		DG20	I-6	B	B
	-2	コナラ節	5.0	3.0	0.5		DG20	I-6	B	B
	-3	コナラ節	7.0	1.5	0.5		DG20	I-6	B	B
165		クリ	3.0	1.0	0.5	1年輪:1.0mm, ゆか目	DG20	I-6	B	B
167の②	-1	クリ	18.0	10.0	1.0	1年輪:1.5~2.0mm	DF20	VI-5, V-5	B	A
	-2	クリ	5.0	2.5	1.0	1年輪:1.0~1.5mm				
	-3	クリ	8.0	7.0	0.5	1年輪:1.0~1.5mm				
	-4	クリ	5.0	3.5	1.0	1年輪:5.0mm				
167の④	-1	クリ	25.0	7.0	1.0	1年輪:2.0~2.5mm, 芯部	DF20	V-5	B	A
	-2	クリ	13.0	5.0	1.0	1年輪:1.5~4.0mm, 芯部				
	-3	クリ	32.0	15.0	3.0	1年輪:3.0mm				
170	-1	クリ	8.0	4.0	1.0		DG20	III-6	B	B
	-2	クリ	6.0	5.0	0.5					
	-3	クリ	28.0	10.0	1.0	1年輪:2.0mm				
	-4	クリ	10.0	5.0	1.0	1年輪:5.0+mm				
	-5	クリ	20.0	8.0	0.2					
171	-1	ウルシ	17.0	8.0	2.5		DG20	III-6	D	B
	-2	不可	7.0	7.0	1.0					
	-3	不可	7.0	2.0	1.5	171-1と同じタイプ				
	-4	不可	5.5	3.0	1.0					
172		クリ	30.0	8.0	3.0	1年輪:2.0mm	DG22	III-1	B	F
		クリ	25.0	11.0	4.5		DG22	IV-2	B	E
174(通しNo.49)		クリ	82.0	12.0	2.0	1年輪:1.5~1.5mm,	DG22	IV-2	B	E
174(通しNo.59)	-1	クリ	3.5	3.5	1.0		DG22	VI-2	B	E
	-2	不可	27.0	6.0	0.5					
	-3	クリ	3.5	3.5	1.0					
175の①	-1	クリ	7.0	3.0	1.0	直立, 1年輪:1.5~2.0mm	DG22	IV-1	B	F
	-2	クリ	4.0	3.0	0.5	直立, 1年輪:5.0~5.0+mm				
	-3	クリ	6.0	3.0	0.5	直立, 1年輪:5.0~6.0mm				
	-4	クリ	21.0	9.0	0.5	1年輪:4.0mm				
	-5	クリ	8.0	2.5	0.5					
176の①		クリ	39.0	14.0	10.0		DG22	V-1	B	F
176の③	-1	クリ	13.0	8.0	1.0		DG22	V-1	B	F
	-2	クリ	18.0	22.0	3.0	板目材?, 1年輪:1.5~4.0mm				
	-3	クリ	12.0	5.0	4.0	1年輪:5.0~2.0mm				
	-4	クリ	8.0	3.5	0.5	1年輪:1.5mm±				
	-5	クリ	4.0	3.5	3.5	芯部に近い部位, 1年輪:1.0~2.5mm				
	-6	クリ	3.0	2.5	2.5	直立, 1年輪:4.0mm				
177の①		クリ	4.4	10.0	4.4	1年輪:3.0~4.0mm	DG22	V-2	B	F
177の② 2ヶ口	-1	クリ	13.0	2.5	1.0					
	-2	不可	5.5	4.0	1.0					
	-3	クリ	20.0	9.0	0.5					
	-4	クリ	7.0	3.0	1.0					
	-5	クリ	7.0	3.0	1.0	1年輪:3.5mm				
	-6	クリ	13.0	3.0	2.0					
177の②下 裏側 2ヶ口	-1	クリ	6.0	6.0	1.0		DG22	V-2	B-D	F
	-2	クリ	2.0	1.0	(測し)	1年輪:4.0mm				
	-3	クリ	5.5	1.5	0.5	1年輪:4.0mm				
177の③ 2ヶ口	-1	クリ	16.0	9.0	2.0	1年輪:2.0mm	DG22	IV-1	D	F
	-2	クリ	10.0	8.0	0.5	1年輪:1.5mm				
	-3	クリ	10.0	6.0	1.5	1年輪:2.0mm				
	-4	クリ	13.0	5.0	0.5	1年輪:3.5mm				
	-5	クリ	16.0	6.0	1.0					
	-6	クリ	12.0	12.0	1.0	1年輪:3.0~5.0mm				
	-7	クリ	-	-	-	直径4.0cm, 1年輪:2.0mm, 芯部含む				
177の③ 左上	-1	クリ	19.0	1.0	4.0	1年輪:5.0mm				
	-2	オニグルミ	4.5	4.5	4.0					
	-3	クリ	11.0	4.5	3.0	1年輪:4.0mm				

取り上げNo	枝番	樹種	実測(cm)			備考	グリット	区	群	図面
			長さ	幅	厚さ					
178	-1	クリ	21.0	9.0	1.0	1年輪:4.0mm	DG22	V-3	D	F
	-2	クリ	36.0	10.0	1.0	1年輪:2.0~3.0mm				
	-3	クリ	30.0	18.0	1.0	1年輪:4.0mm,放射方向11mmに11年輪				
	-4	クリ	13.0	12.0	2.0	板目板状?,1年輪:2.5mm				
179の①	-1	クリ	14.0	12.0	1.0	1年輪:2.0~3.0mm	DG22	V-3	D	F
	-2	クリ	21.0	6.0	1.0					
179の②	-1	クリ	40.0	33.0	2.0	1年輪:3.0mm	DG22	V-4	D	D
	-2	クリ	19.0	10.0	1.0	1年輪:2.0mm				
180-②	-1	クリ	20.0	7.0	1.0		DG22	V-3	B	F
	-2	クリ	8.0	4.0	0.5	1年輪:4.0mm				
181の①	-1	クリ	12.0	4.0	1.0		DG22	III-2	B	E
	-2	クリ	7.0	3.0	0.5					
	-3	クリ?	5.0	3.0	0.5					
181の②		クリ	84.0	22.0	5.0		DG22	III-2	B	E
181の③		クリ	20.0	7.0	2.0	1年輪:1.5mm,芯部に近い部位	DG22	III-3	B	E
181の④		クリ	41.0	30.0	2.0	1年輪:2.0~5.0mm	DG22	II-3	B	E
182		クリ	46.0	12.0	3.0	1年輪:2.0~3.0mm	DG22	II-3	B	E
183	-1	クリ	3.0	1.5	0.5		DF22	VI-5	B	C
	-2	オニグルミ	2.0	1.5	0.5					
184	-1	クリ	10.0	5.0	1.0	1年輪:3.0mm	DF22	VI-4	B	C
	-2	クリ	6.0	3.0	1.5	1年輪:2.0~3.0mm				
	-3	クリ	4.0	2.5	2.0	1年輪:2.0~3.0mm				
185	-1	オニグルミ	2.5	2.5	1.0		DG22	I-6	B	D
186-1 (通しNo.72)	-1	クリ	21.0	7.0	2.5	1年輪:4.0mm	DG22	I-6	B+C	D
	-2	クリ	5.0	3.0	1.5					
	-3	クリ	13.0	5.0	1.5					
	-4	不可	10.0	4.0	1.5					
186の① (通しNo.93)	-1	クリ	42.0	12.0	3.0	1年輪:4.0~5.0mm	DG22	I-6	B-C	D
	-2	クリ	7.0	4.0	3.0	1年輪:1.0~2.0mm				
	-3	クリ	11.0	11.0	1.0					
	-4	クリ	13.0	4.0	2.0	1年輪:1.5~3.0mm				
186の②	-1	クリ	12.0	5.0	2.5	1年輪:2.5mm	DG22	I-6	B	D
	-2	クリ	17.0	4.0	3.0	1年輪:1.0mm				
	-3	クリ	6.0	3.0	1.5					
	-4	不可	5.0	3.5	2.0					
	-5	不可	9.0	5.0	3.0					
	-6	クリ	9.0	2.5	1.5	1年輪:4.0mm				
	-7	クリ	10.0	5.0	1.0	1年輪:4.0mm				
187		クリ	24.0	12.0	2.5	1年輪:2.5mm	DG22	II-6	B	D
187の④		クリ	41.0	30.0	2.0	1年輪:2.0~5.0mm	-	II-3	-	-
189		クリ	6.0	5.0	2.0		DG22	II-6	B	D
190	-1	クリ	57.0	6.0	2.0	1年輪:3.0mm	DG22	II-6	B	D
	-2	クリ	15.0	4.0	1.5	1年輪:3.0mm				
191		クリ	16.0	6.0	3.0	1年輪:4.0mm	DG22	II-6	B	D
192		クリ	-	-	-	当年枝	DG22	II-6	B	D
193		クリ	18.0	6.5	6.0	芯部に近い部位	DG22	II-6	B	D
194	-1	クリ	15.0	5.5	2.0	1年輪:3.0mm	DG22	II-6	B	D
	-2	クリ	3.0	2.0	0.5					
195		クリ	5.0	19.0	3.0	1年輪:3.0mm	DG22	II-6	B	D
196		クリ	7.5	7.0	1.0		-	III-5	-	-
196の②		クリ	37.0	16.0	3.0	1年輪:3.0mm	DG22	III-6	B	D
197		クリ	21.0	9.0	4.5	1年輪:2.0~3.0mm	DG22	III-6	B	D
198	-1	不可	27.0	4.0	0.5	土埋入	DG22	III-6	B	D
	-2	不可	10.0	4.0	1.0					
199の①	-1	クリ	28.0	7.0	1.0	1年輪:3.0mm	DG22	III-6	D	D
	-2	不可	7.0	4.0	2.0	土埋入				
199の②		クリ	25.0	9.0	1.0	1年輪:2.0mm	DG22	III-5	B	D
199の③	-1	クリ	13.0	9.0	2.0	1年輪:3.0mm	DG22	III-5	B	D
	-2	クリ	6.0	3.0	2.0	1年輪:3.0mm				
200		クリ	25.0	6.0	7.0	1年輪:2.0~2.5mm	DG22	IV-5	B	D
201		クリ	-	-	-	1年輪:3.0mm,小片	DG22	IV-5	D	D
202-203	-1	不可	20.0	8.0	4.0	土埋入	DG22	IV-5	B	D
	-2	クリ	21.0	5.0	1.0					
204	-1	ヤマグワ	6.5	6.0	1.5	1年輪:1.0mm	DG22	IV-5	B	D
	-2	ヤマグワ	13.0	12.0	2.5	ぬか目				
	-3	不可	5.5	4.0	1.0	炭なし				
	-4	クリ	6.0	3.0	2.0					
205		クリ	-	-	-	1年輪:4.0mm	DG22	IV-5	D	D
206	-1	クリ	10.0	19.0	9.0	1年輪:4.0mm	DG22	IV-4	B	D
	-2	クリ	8.0	2.0	1.0	1年輪:2.5~3.0mm				

取り上げNo	枝番	樹種	実測(cm)			備考	グリット	区	群	調査
			長さ	幅	厚さ					
206の下側 の1)		クリ	46.0	25.0	5.0	1年輪:1.5~3.0mm	DG22	IV-4	B	D
206下側 2ヶ所		クリ	14.0	5.5	0.5		DG22	IV-5	B	D
207		不可	-	-	-		DG22	III-5	B+C	D
208		不可	-	-	-		DG22	III-5	B+C	D
209		クリ	-	-	-	1年輪:1.5mm前後	DG22	III-5	C	D
210		クリ	-	-	-	放射方向12mmに5年輪	DG22	V-3	B	F
211	-1	クリ	90.0	14.0	1.5	芯部?	DG22	IV-4	B	D
	-2	キハダ	32.0	17.0	1.0					
212		クリ	-	-	-		DF20	IV-6	B	A
		不可	11.0	14.0	3.0					
214		クリ	-	-	-		DF20	IV-6	B	A
215	-1	クリ	14.0	5.0	1.0	1年輪:1.5~2.0mm	DF22	III-1	B	A
	-2	クリ	11.0	5.0	0.5					
	-3	クリ	11.0	3.5	0.5	1年輪:7.0mm				
	-4	不可	5.0	5.5	1.0					
216	-1	クリ	43.0	32.0	2.5	1年輪:1.0~2.0mm	DF22	IV-1	B	A
	-2	クリ	15.0	4.0	1.0	1年輪:3.0~5.0mm				
	-3	オニグルミ	-	-	-					
	-4	クリ	10.0	7.0	1.0	1年輪:4.0mm				
217		クリ	37.0	11.0	-	1年輪:1.0mm, めか目	DF22	IV-1	B	A
218	-1	クリ	12.0	4.0	1.0	1年輪:1.5mm	DF22	IV-1	B	A
	-2	クリ	14.0	7.0	0.5	1年輪:1.5~2.0mm				
	-3	クリ	6.0	6.0	0.5					
	-4	クリ	6.0	3.0	0.5	1年輪:2.0mm				
	-5	クリ	5.0	2.0	0.5					
	-6	クリ	9.0	2.0	0.5					
	-7	クリ	6.0	2.5	0.5					
219		クリ	-	-	-	1年輪:2.0mm	DF22	III-2	B	A
220	-1	クリ	11.0	5.0	2.0	1年輪:1.0~1.5mm	DF22	III-2	B	A
	-2	クリ	3.5	2.0	0.5	1年輪:1.0~1.5mm				
221		クリ	55.0	21.0	2.0	1年輪:1.5mm	DF22	V-2	B	A
222	-1	クリ	3.5	3.0	2.0	1年輪:1.5mm	DF22	V-2	B	A
	-2	クリ	29.0	8.0	4.0	1年輪:2.0mm				
	-3	クリ	22.0	5.0	2.5					
	-4	クリ	10.0	6.0	1.0	1年輪:3.0mm				
	-5	クリ	5.0	3.0	2.0	1年輪:2.0mm				
223		クリ	50.0	10.0	4.0	1年輪:1.0mm	DF22	VI-2	-	-
224	-1	クリ	4.5	4.0	0.5	1年輪:1.5mm	DF22	VI-2	-	-
	-2	クリ	5.0	3.0	0.5	1年輪:1.5mm				
	-3	クリ	3.0	1.5	0.5	1年輪:1.0mm				
225		クリ	2.0	1.0	0.5	1年輪:1.5mm	DF22	VI-1	C	B
226	-1	不可	20.0	5.0	2.5	めか目, 悪い	DG20	I-5	B	-
	-2	オニグルミ	3.5	4.0	0.5	1年輪:1.5~2.0mm				
	-3	クリ	2.5	2.5	0.5	1年輪:8.0mm				
	-4	クリ	3.0	2.5	1.0	1年輪:8.0mm, 0.5mmのめか目				
227(No.169の下)		クリ	7.0	9.0	1.0	1年輪:2.0mm	DG20	I-5	B	B
228		クリ	12.0	12.0	1.0	1年輪:1.0~1.5mm	DG20	II-6	C	B
229		クリ	25.0	20.0	2.0	1年輪:3.0~4.0mm	DG20	III-6	C	B
230		不可	-	-	-	木の形状はあるが痕はなし	DG20	III-6	-	-
231	-1	不可	45.0	13.0	2.0	炭粉塊	DG22	VI-1	B	F
	-2	クリ	18.0	13.0	1.0	1年輪:1.0mm, めか目				
232	-1	クリ	63.0	12.0	4.0	1年輪:1.0~1.5mm, 芯部?	DG22	IV-1	B	F
	-2	クリ	60.0	15.0	3.0	1年輪:3.5mm				
233	-1	クリ	9.0	5.0	2.0	1年輪:2.5~4.0mm, 芯部	DG22	IV-1	B	F
	-2	クリ	3.0	2.5	1.0	1年輪:6.0mm, 芯部?				
234	-1	クリ	9.0	10.0	2.0	芯部	-	-	-	-
	-2	不可	38.0	28.0	1.0	微破片				
	-3	クリ	12.0	7.0	1.0					
234 2ヶ所		クリ	16.0	4.0	1.0~2.0	1年輪:1.0~2.5mm	DF22	V-2	B	F
235		クリ	6.0	3.0	0.5	1年輪:2.0~3.0mm	DF22	VI-5	C	C
236		クリ	3.0	1.5	0.5		DF22	VI-5	C	C
943 (リストとの 対応不明)		クリ	6.0	2.5	1.0	1年輪:2.5~3.0mm	-	-	-	-

表2 御所野遺跡 DF22住 保存処理炭化材クリ以外の樹種の出土分布状況

取り上げNo	グリット	区	群	枝番	樹種
156	DF 20	VI-5	B	-1	オニグルミ
				-2	クリ
				-3	クリ
216	DF 22	IV-1	B	-2	クリ
				-3	オニグルミ
				-4	クリ
68	DF 22	IV-1	B	-1	クリ
				-2	クリ
				-3	オニグルミ
87	DF 22	VI-1	B		オニグルミ
183	DF 22	VI-5	B	-1	クリ
				-2	オニグルミ
226 図面位置不明	DG 20	I-5	B	-1	不可
				-2	オニグルミ
				-3	クリ
				-4	クリ
164	DG 20	I-6	B	-1	コナラ節
				-2	コナラ節
				-3	コナラ節
97の①	DG 20	II-6	B	-1	サクラ属
				-2	サクラ属
153	DG 22	I-1	B	-1	オニグルミ
				-2	クリ
185	DG 22	I-6	B	-1	オニグルミ
124	DG 22	IV-2	B	-1	広葉樹
				-2	不可
211	DG 22	IV-4	B	-1	クリ
				-2	キハダ
204	DG 22	IV-5	B	-1	ヤマグワ
				-2	ヤマグワ
				-3	不可
				-4	クリ
171	DG 20	III-6	D	-1	ウルシ
				-2	不可
				-3	不可
				-4	不可
177の③左上	-	-	D	-1	クリ
				-2	オニグルミ
				-3	クリ



図版1 御所野遺跡 DF22住居 DGグリッド IIIb.No.171 ウルシ

a:横断面(スケール=100 μ m), b:接線断面(スケール=50 μ m), c:放射断面(スケール=50 μ m).

3. 一戸町内の指定文化財等一覧

【国指定文化財】

(令和4年4月1日)

No.	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	重 文	蒔前遺跡出土品	253	御所野縄文博物館	H 6 . 6 . 28	縄文時代晩期の遺物
2		旧 朴 館 家 住 宅	1	小島谷字朴館	H 23 . 11 . 29	県下最大級の古民家
3	史 跡	御 所 野 遺 跡	1	岩館字御所野	H 5 . 12 . 21	縄文時代の集落跡
4		奥 州 街 道	1	一戸字大道沢ほか	H 22 . 2 . 22	近世の主要な街道
5	名 勝	男神岩・女神岩 ・ 鳥 越 山	1	二戸市石切所 一戸町鳥越 地内	H 18 . 7 . 28	馬淵川沿岸の景勝地
6	特 記 天 然 物	根反の大珪化木	1	根反字川向	S 11 (天) S 27 (地) 12 . 16 3 . 29	根を張ったまま直立している日本最大の珪化木
7	天 然	藤 島 の フ ジ	1	小島谷字仁昌寺	S 13 . 12 . 14	樹齢数百年の巨木
8		実相寺のイチヨウ	1	一戸字大沢	S 13 . 12 . 14	雄株の枝に実のなる特異なイチヨウ
9	記 念 物	姉帯・小島谷・根反 の珪化木地帯	1	姉帯・小島谷・根 反地内	S 16 . 2 . 21	広い範囲に分布する保存良好な珪化木地帯
10		浪打峠の交叉層	1	一戸字大越田 一戸字大道沢	S 16 . 8 . 1	浅海時に形成された交叉層
11		平糠のイヌブナ 自 然 林	1	平糠	S 23 . 9 . 21	イヌブナの北限自然林

【国登録文化財】

1	建 造 物	萬 代 館	1	一戸字本町	H 28 . 8 . 1	映画ブーム時代の県内唯一残る 現役映画専用館
---	-------------	-------	---	-------	--------------	---------------------------

【県指定文化財】

No.	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	有 形 文 化 財	宮 田 宝 篋 印 塔	1	月館字大畑	S 58 . 8 . 5	紀年銘ある県内唯一の宝篋印塔
2		西 方 寺 毘 沙 門 堂	1	西法寺字西法寺	H 3 . 3 . 29	近世初期の寺
3		雀 紋 印 の 馬 印	1	御所野縄文博物館	H 7 . 9 . 1	一戸牧産馬の焼印
4	有 形 民 俗 財	巡 礼 納 札 (鳥 越 観 音)	1	御所野縄文博物館	S 54 . 8 . 17	糠部33ヶ所巡礼の納札
5		二 戸 地 方 の 漆 蠟 関 係 資 料	94	御所野縄文博物館	H 18 . 9 . 26	漆蠟づくり関連資料
6	無 形 文 化 財	根 反 鹿 踊 り	1	根反地区	H 8 . 9 . 3	県北地方を代表する鹿踊り
7		一 戸 の 山 伏 神 楽	2	高屋敷神楽 中山神楽	H 24 . 11 . 13	県北地方を代表する神楽
8	史 跡	小 繫 一 里 塚	1	小繫字小繫	H 2 . 8 . 28	奥州街道一里塚

【町指定文化財】

No.	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
1	有形文化財	阿弥陀如来座像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代の仏像
2		毘沙門天立像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代の仏像
3		地藏菩薩立像	1	西法寺字西法寺	S 51 . 9 . 25	西方寺毘沙門堂にある室町時代の仏像
4		木造阿弥陀三尊立像	3	月館字金葛	S 59 . 12 . 25	紀年銘をもつ県北地方最古の仏像
5		姉帯馬場宝篋印塔	2	姉帯字馬場	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
6		悪戸平宝篋印塔	1	鳥越字悪戸平 (共同墓地内)	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
7		小井田宝篋印塔	2	一戸字小井田	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
8		大観森宝篋印塔	2	一戸字小井田	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
9		実相寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
10		広全寺宝篋印塔	1	一戸字大沢	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
11		出ル町宝篋印塔	1	出ル町字楢木	S 38 . 6 . 8	中世の貴重な石碑
12		薬師堂宝篋印塔	1	月館字薬師堂	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑
13		小性堂宝篋印塔	1	小鳥谷字小性堂	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑
14		上里宝篋印塔	1	姉帯字上里	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑
15		桃ノ木宝篋印塔	1	小友字桃ノ木	S 53 . 10 . 30	中世の貴重な石碑
16		半在家五輪塔	1	小友字半在家	S 53 . 10 . 30	町内で唯一の五輪塔
17		青龍刀形石器	1	御所野縄文博物館	S 52 . 8 . 24	縄文時代の数少ない石器
18		櫛目波状文双耳壺	1	御所野縄文博物館	S 61 . 12 . 25	平安末から鎌倉初期の経壺
19		青磁香炉	1	御所野縄文博物館	S 61 . 1 . 26	西方寺毘沙門堂の所蔵品
20		小枝八幡宮板碑	1	一戸字小井田	H 7 . 10 . 2	中世の供養塔
21		関屋大日堂板碑	2	西法寺字関屋	H 7 . 10 . 2	中世の供養塔
22		帰住証文替証文	1	御所野縄文博物館	H 2 . 3 . 26	九戸城落城後周辺住民へ帰住を進めた文書の替証文
23		横矧鉾綴桶 側二枚副具足	1	一戸字本町	S 60 . 3 . 25	近世初期のよろい
24		越田八幡宮梵鐘	1	御所野縄文博物館	H 16 . 11 . 26	江戸時代前期の梵鐘

No	種別	名 称	数量	所在地等	指定年月日	内 容
25	有形民俗文化財	宝永六年銘青面金剛庚申供養塔	1	一戸字北館	S 59 . 12 . 25	町内最古の庚申塔
26		嘉永七年盛岡曆	1	御所野縄文博物館	S 61 . 12 . 25	農作業のための絵曆
27		西方寺毘沙門堂絵馬	78	西法寺字西法寺御所野縄文博物館	H 4 . 3 . 25	近世初期から奉納された絵馬
28		浪岡家の型紙	740	一戸字本町	H 5 . 11 . 1	染物の型紙
29	無形民俗文化財	小鳥谷七ツ踊り	1	小鳥谷地区	H 26 . 2 . 24	一戸町を代表する七ツ踊り
30		小友神楽	1	小友地区	H 26 . 2 . 24	一戸町を代表する山伏神楽
31		女鹿神楽	1	女鹿地区	R 1 . 7 . 25	一戸町を代表する山伏神楽
32		田中新山社神楽	1	岩館地区	S 26 . 2 . 24	一戸町を代表する山伏神楽
33	史跡	火行墳墓	1	中山字西火行	S 53 . 10 . 30	中世の墳墓
34		笹目子・上女鹿沢一里塚	2	小鳥谷字笹目子小鳥谷字上女鹿沢	S 53 . 10 . 30	奥州街道一里塚
35		穴久保・下女鹿沢一里塚	2	小鳥谷字穴久保小鳥谷字下女鹿沢	S 53 . 10 . 30	奥州街道一里塚
36	姉帯城跡	1	姉帯字川久保・館	H 5 . 5 . 1	中世城館	
37	天然記念物	佐藤家のイグネ林	11	女鹿字上女鹿	S 48 . 2 . 1	樹齢300年以上
38		宮古沢のアズマヒガン桜	1	鳥越字宮古沢	S 48 . 2 . 1	樹齢310年
39		出ル町のイチヨウ	1	出ル町字出ル町	S 48 . 2 . 1	樹齢800年
40		八坂神社のケヤキ	1	高善寺字野田	S 48 . 2 . 1	樹齢400年
41		姉帯鬼測のセンノキ	1	姉帯字鬼測	S 48 . 2 . 1	樹齢380年
42		姉帯上里のカヤ	1	姉帯字上里	S 48 . 2 . 1	樹齢430年
43		野尻の大イチイ	2	平糠字野尻	H 2 . 3 . 26	樹齢400年
44		観音堂の藤	1	小鳥谷字仁昌寺	H 4 . 3 . 25	樹齢150年
45		鳥越観音の参道樹木	17	鳥越字宮古沢	H 6 . 5 . 1	古寺の参道樹木
46		奥中山のクリ	2	奥中山字西田子	H 21 . 11 . 25	樹齢100年以上

4. 一戸町文化財調査報告書一覧

巻次	報告書名	発行年
第1集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰ	1981
第2集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅱ	1982
第3集	一戸町の石造文化財 一その1一 一宝篋印塔と五輪塔一	1982
第4集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅲ	1983
第5集	一戸バイパス関係埋蔵文化財調査報告書Ⅳ	1983
第6集	一戸城跡 一昭和57年度発掘調査概報一	1983
第7集	上野遺跡 一昭和58年度発掘調査報告書一	1984
第8集	一戸城跡 一昭和58年度発掘調査概報一	1984
第9集	一戸町の絵馬 一西方寺毘沙門堂と小滝稲荷社一	1984
第10集	一戸町の石造文化財 一その2一 一石塔婆・庚申塔・廿三夜塔一	1985
第11集	岩手の歴史と風土 一昭和59年度カルチュア・ユニバーシティ歴史専門講座講義録一	1985
第12集	一戸城跡 一昭和59年度発掘調査概報一	1985
第13集	上野遺跡 一昭和59年度発掘調査報告書一	1985
第14集	いちのへのオシラサマ	1986
第15集	一戸城跡 一昭和60年度発掘調査概報一	1986
第16集	一戸町の仏像	1986
第17集	蒔前 一岩手県蒔前遺跡出土資料の図録一	1986
第18集	上野遺跡・一戸城跡 一昭和61年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1987
第19集	オシラサマ 一オシラサマ・シンボジウム記録一	1987
第20集	上野遺跡 一昭和62年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1988
第21集	鳥越館跡 一昭和63年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1989
第22集	一戸の古文書	1989
第23集	岩手県北地方の漆蠟	1990
第24集	上野遺跡 一平成元年度一戸遺跡群発掘調査報告書一	1990
第25集	一戸町の遺跡（Ⅰ）（一戸地区・西法寺地区・岩館地区・鳥越地区） 一平成2年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書一	1991
第26集	御所野遺跡 一平成2年度御所野遺跡発掘調査概報一	1991
第27集	北館遺跡 一平成2年度発掘調査報告書一	1991
第28集	一戸町の遺跡（Ⅱ）（中里地区・月館地区・出ル町地区・小友地区・女鹿地区） 一平成3年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書一	1992
第29集	御所野遺跡 一平成3年度御所野遺跡発掘調査概報一	1992
第30集	一戸町の郷土芸能	1992
第31集	いちのへの型紙	1992
第32集	御所野遺跡Ⅰ 一縄文時代中期の大集落跡一	1993
第33集	一戸町の遺跡（Ⅲ）（姉帯地区・面岸地区・根反地区） 一平成4年度一戸遺跡群詳細分布調査報告書一	1993
第34集	いちのへの 年中行事	1993
第35集	一戸町の遺跡（Ⅳ）（小鳥谷地区・平糠地区・小繋地区） 一平成5年度町内遺跡詳細分布調査報告書一	1994
第36集	山井遺跡 一縄文晩期の包含層一	1995

巻次	報 告 書 名	発行年
第37集	一戸町の遺跡（Ⅴ）（中山西地区・中山東地区・平糠南地区・宇別地区） —平成6年度町内遺跡詳細分布調査報告書—	1995
第38集	一戸町の遺跡（Ⅵ）（橋山地区・月館地区・出ル町地区・小友地区・小鷲地区） —平成7年度町内遺跡詳細分布調査報告書—	1996
第39集	町内遺跡発掘調査報告書 —一戸城跡・小井田Ⅴ遺跡—	1998
第40集	小井田Ⅴ遺跡	1999
第41集	姉帯城跡	1999
第42集	平成11年度町内遺跡発掘調査報告書 —鳥越館跡・蒔前遺跡—	2000
第43集	上野遺跡	2001
第44集	一戸城跡・川原田平遺跡 —平成12年度町内遺跡発掘調査報告書—	2001
第45集	一戸城跡・蒔前遺跡 —平成13・14年度町内遺跡発掘調査報告書—	2003
第46集	田中遺跡	2003
第47集	いちのへの型紙Ⅱ	2003
第48集	御所野遺跡Ⅱ	2004
第49集	一戸城跡・御所野遺跡・野里遺跡 —平成15年度町内遺跡発掘調査報告書—	2004
第50集	御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅰ	2004
第51集	国指定天然記念物 藤島のフジ樹勢回復事業報告書	2005
第52集	平成16年度町内遺跡発掘調査報告書 —野里遺跡—	2005
第53集	御所野遺跡Ⅲ	2006
第54集	平成16、17年度町内遺跡発掘調査報告書 —御所野遺跡—	2006
第55集	稲荷林遺跡	2006
第56集	大平遺跡	2006
第57集	東Ⅳ遺跡	2007
第58集	野田Ⅰ遺跡 野田宝篋印塔と中世墳墓	2007
第59集	奥州街道調査報告書	2007
第60集	御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅱ	2007
第61集	似平Ⅱ遺跡	2008
第62集	下地切遺跡・蒔前遺跡・野里遺跡・一戸城跡 —町内遺跡発掘調査報告書—	2008
第63集	野田Ⅱ遺跡	2009
第64集	御所野遺跡・馬場平遺跡 —平成19・20年度町内遺跡発掘調査報告書—	2009
第65集	奥州街道整備事業報告書（第1分冊）・（第2分冊 整備活用計画編）	2009
第66集	平成20・21年度町内遺跡発掘調査報告書 —上野遺跡・下村遺跡・西田子8遺跡・中山家向Ⅱ遺跡—	2010
第67集	朴館家住宅調査報告書	2011
第68集	御所野遺跡Ⅳ	2013
第69集	一戸の古文書（Ⅱ）	2014
第70集	御所野遺跡Ⅴ —総括報告書—	2015
第71集	御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅲ —総括報告書—	2017
第72集	朴館遺跡 —平成27・28年度町内遺跡発掘調査報告書—	2017
第73集	小鷲Ⅱ遺跡	2018
第74集	馬場平遺跡・蒔前遺跡 —平成28・30年度町内遺跡発掘調査報告書—	2019
第75集	越田橋遺跡	2020

令和5年度
一戸町文化財年報

令和6年8月

編集・発行 一戸町教育委員会

〒028-5316

岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野2

TEL. 0195-32-2652